

令和 6 年度

年 報

(令和 5 年度事業内容)



国民健康保険山城病院組合
介護老人保健施設 やましろ

令和 7 年 3 月

令和 6 年度年報（令和 5 年度事業内容）

【目次】

① 施設基本理念・施設運営方針		P 2
② 施設沿革		P 3
③ 組織・体制		P 5
④ 施設概要（フロアガイド・アクセス・入所費用）		P 6
⑤ 事業概要		P 9
⑥ 部門紹介		P 11
⑦ 委員会活動状況		P 18
⑧ 令和 5 年度主要行事		P 20
⑨ 令和 5 年度第三者評価受診結果		P 21
⑩ 令和 5 年度施設満足度調査結果		P 29
⑪ 各種データ（令和 5 年度・令和 4 年度）		P 37
・延べ利用者数		
・地区別延べ入所者数		
・地区別実入所者数		
・入退所状況一覧（入所前居所・退所後居所）		
・入所介護サービス費実績一覧		
・在宅復帰率		
・入所稼働率		
・入所者平均要介護度		
・介護福祉士割合		
⑫ 令和 5 年度決算状況		P 52
⑬ 歴代施設長、歴代副施設長、歴代事務長、歴代看護・介護部長		P 53

施設基本理念

1. 利用者本位の自立支援
個々人の意思を尊重した利用者本位の質の高いサービス提供を通じ、高齢者の自立を支援する。
2. 地域密着型
地域に根ざした中核の施設として、利用者に必要な介護サービスを提供する。

施設運営方針

1. 当施設では、利用者の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、施設サービス計画に基づいて、医学的管理の下における機能訓練、看護、介護その他日常的に必要とされる医療並びに日常生活上の世話をを行い、居宅における生活への復帰を目指す。
2. 当施設では、利用者の意思及び人格を尊重し、自傷他害の恐れがある等緊急やむを得ない場合以外、原則として利用者に対し身体拘束を行わない。
3. 当施設では、介護老人保健施設が地域の中核施設となるべく、居宅介護支援事業者、その他保健医療福祉サービス提供者及び関係市区町村と綿密な連携を図り、利用者が地域において統合的サービス提供を受けることができるよう努める。
4. 当施設では、明るく家庭的な雰囲気重視し、利用者が「にこやか」で「個性豊かに」過ごすことができるようサービス提供に努める。
5. サービス提供にあたっては、懇切丁寧を旨とし、入所者又はその家族に対して療養上必要な事項について、理解しやすいように指導又は説明を行うとともに利用者の同意を得て実施するよう努める。
6. 利用者の個人情報の保護は、個人情報保護法に基づく厚生労働省のガイドラインに則り、当施設が得た利用者の個人情報については、当施設での介護サービスの提供にかかる以外の利用は原則的に行わないものとし、外部への情報提供については、必要に応じて利用者またはその代理人の了解を得ることとする。

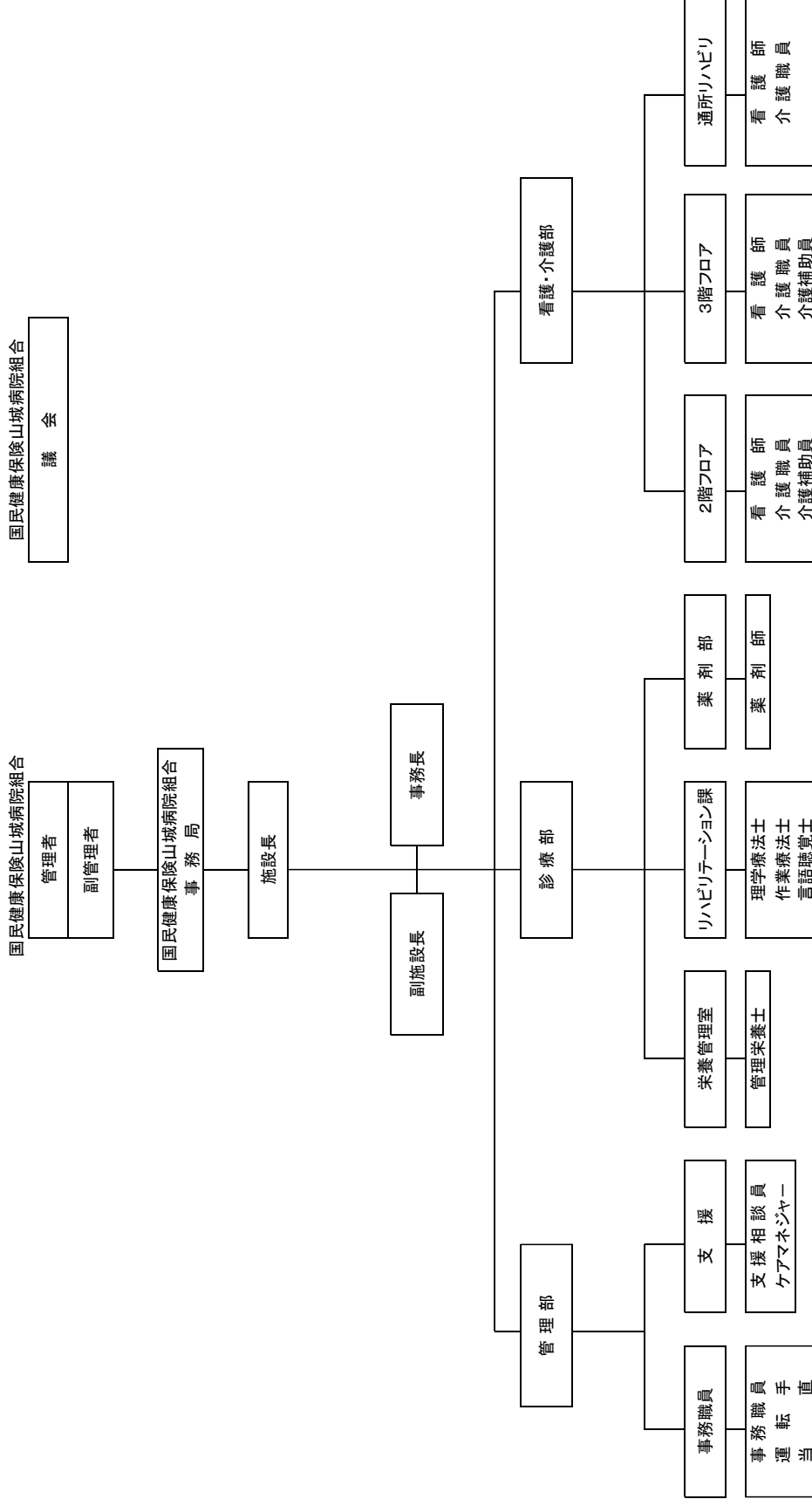
施設沿革

平成18年	1月	介護老人保健施設やましろ起工
平成19年	3月	介護老人保健施設やましろ竣工
		京都府より開設許可
		岩城雅美施設長就任
平成19年	4月	介護老人保健施設やましろ オープン
平成24年	12月	岩城雅美施設長退任
平成25年	1月	赤坂裕三施設長就任
平成26年	12月	介護サービス第三者評価 受診
平成28年	10月	きょうと福祉人材育成認証事業所に認定
平成29年	12月	介護サービス第三者評価 受診
平成30年	7月	赤坂裕三施設長退任
平成30年	8月	岩本一秀施設長就任
令和 2年	4月	施設類型「加算型」へ移行
令和 2年	12月	介護サービス第三者評価 受診
令和 3年	3月	岩本一秀施設長退任
令和 3年	4月	中井一郎施設長就任
令和 4年	3月	中井一郎施設長退任
令和 4年	4月	原田政吉施設長就任
令和 4年	9月	原田政吉施設長退任

令和 4 年 1 0 月	回復期リハビリテーション病棟開設に伴い、 3 4 床（4 階）を事業転換 入所定員数 6 6 床（2 ・ 3 階）で運用開始
令和 4 年 1 0 月	大島洋一施設長就任
令和 4 年 1 1 月	施設類型「在宅強化型」へ移行
令和 5 年 1 0 月	施設類型「超強化型」へ移行
令和 5 年 1 2 月	介護サービス第三者評価 受診
令和 6 年 3 月	大島洋一施設長退任

組織・体制

R6. 3. 31現在



施設概要

フロアガイド



[illegible]

令和5年度入所費用概算（31日分）

多床室（4人部屋）

要介護度	入所費用概算		
	介護保険1割負担	介護保険2割負担	介護保険3割負担
要介護1	109,700円	145,600円	181,500円
要介護2	112,200円	150,600円	188,900円
要介護3	114,300円	154,800円	195,300円
要介護4	116,200円	158,600円	200,900円
要介護5	118,000円	162,200円	206,400円

※1割負担、2割負担、3割負担は収入等によって定まります。

個室

要介護度	入所費用概算					
	組合内(木津川市、和束町、笠置町、南山城村)			組合外		
	介護保険 1割負担	介護保険 2割負担	介護保険 3割負担	介護保険 1割負担	介護保険 2割負担	介護保険 3割負担
要介護1	198,200円	231,900円	265,100円	232,300円	266,000円	299,200円
要介護2	200,600円	237,600円	273,600円	234,700円	271,700円	307,400円
要介護3	202,700円	241,800円	279,500円	236,800円	275,900円	313,600円
要介護4	204,600円	245,600円	285,200円	238,700円	279,700円	319,300円
要介護5	206,500円	249,600円	291,100円	240,600円	283,700円	325,200円

※各種加算やその他必要に応じて別途料金がかかる場合があります。

※低所得者については、市町村に申請し対象と認められた場合、食費・居住費が軽減されます。

事業概要

「ろうけん＝介護老人保健施設」は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。利用者様お一人おひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門スタッフが行い、夜間でも安心できる体制を整えています。

●入所

要介護 1～5 の方で、病状が安定しており、入院や治療の必要のない方に入所していただき、食事、入浴、リハビリテーション、レクリエーションなどのサービスを提供し、楽しみながら日常生活での自立を目指していただきます。

利用者様お一人おひとりの状況に応じてきめ細やかな評価を行い、ケアプランを作成し、サービスの提供を行っております。また、季節に応じたレクリエーションや、行事食、お誕生日会など、入所者の方に楽しんで生活していただけるよう様々なイベントを企画しております。

●短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護（ショートステイ）

ご家庭で生活されている要支援 1・2、要介護 1～5 の方で、ご家族の病気、冠婚葬祭、介護疲れ等の事情により、一時的に家庭での介護が出来ない場合に、短期間入所していただくサービスです。木津川市・相楽郡にお住まいの方は、入退所時の送迎もさせていただきます。

●通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション（デイケア）

ご家庭で生活されている要支援 1・2、要介護 1～5 の方に、施設に通っていただき、健康チェックを受け、リハビリテーション、食事、レクリエーション等を楽しんでいただく、日帰りサービスです。木津川市・相楽郡にお住まいの方は、送迎もさせていただきます。



リハビリテーションの様子

(施設の運営状況)

入所施設（短期入所含む。）の運用について、山城総合医療センター回復期リハビリテーション病棟の開設に伴い、入所定員は減員となりました。その中で、入所者様の確保と老健施設本来の在宅復帰・在宅療養支援機能の高い施設への移行に向けて、機能回復訓練の充実、入所前後の訪問指導の実施、関係機関との連携強化等により、ベッド回転率・在宅復帰率の向上に努め、令和 5 年 10 月には介護報酬制度に基づく施設類型を「在宅強化型」から「超強化型」に移行しました。

また、施設入所者数は、入所定員の減員に伴い、年延べ 22,363 人で前年度比 2,056 人の減少、短期入所者数は年延べ 662 人で前年度比 62 人の増加、通所リハビリテーション利用者数は年延べ 3,827 人で前年度比 633 人の増加となりました。

部門紹介

【診療部】

●**栄養管理室** ※令和6年3月31日現在

管理栄養士 3名

1. 入所、短期入所、通所に係る給食業務

当施設は温冷配膳車による適時適温給食を実施しており、日々の食事の様子を観察し、ご利用者様の好みや意見を反映し、満足していただけるような食事を提供できるよう努めています。

令和5年度メニューは、お正月や節分など年16回の行事食、年1回のにぎり寿司、月1回のおやつ作りなど、利用者様に食べることを楽しんで頂けるよう様々なイベントを企画し実施しました。

2. 入所に係る給食業務

上記1. に加え朝食における主食（パン又は米飯）の選択制を実施しています。

さらに、療養食については、医師の指示に基づき糖尿病食・心臓病食・高血圧食・腎臓病食・貧血食・低残渣食・膵臓食を、手指機能・咀嚼機能・嚥下機能が低下された方にはきざみ食、トロミ付き食、嚥下調整食Ⅱを利用者様お一人おひとりに合わせて提供しています。

また、栄養管理業務においては、全ての入所者様に対し、栄養ケア・マネジメントを実施しています。身体状況・栄養状態・食事摂取量などを把握するため、週3回以上のミールラウンドを行い、食事摂取量低下などの改善すべき点がある方には栄養補助食品の提供や食事形態・食事量変更などを他職種と相談し、低栄養予防・改善に向けて取組を行っています。また、褥瘡を認める方へは他職種とのカンファレンスにて、栄養補助食品の提案や検討、提供を行い、褥瘡の治癒・改善に向けた栄養管理を行っています。

なお、退所時に低栄養状態を認める方には、退所後も円滑に食事をしていただけるよう情報提供を行っています。

食事量が少ない方には、できるだけ食べて頂けるよう食事の量や内容、品数等に配慮した嗜好に合わせた食事を提供しています。また、嚥下機能が低下している方には、言語聴覚士と連携しその方の機能に合わせた食事内容で提供しています。全粥の水分で咽込みが見られる場合は、全粥をゼリー状にした誤嚥しにくい主食の提供も行っています。

経口摂取維持のための誤嚥予防が必要な方に対しては、他職種と月1回のミールラウンド・会議を行い、個々の問題点が改善されるよう検討しています。

3. 衛生管理について

令和5年度においても大量調理マニュアルに従い、毎日の自主点検（冷蔵庫温度の確認等）の他、給食業務委託業者が行う毎月1回の食品衛生に係る点検（厨房機器の衛生的な取扱い、食材の保管状況等）、衛生講習会（季節ごとの起こりやすい食中毒や、労働災害について、衛生自主管理マニュアルの読み合わせ等）を実施しました。

4. 今後の展望と課題

今年度のおやつ会は鉄板を使用して利用者様の目の前で焼いて提供するおやつが人気で、お好み焼きやたこ焼きなどのソース味は食欲が増進し、お代わりされる方も多くいらっしゃいました。また、クレープやフレンチトーストは、フロアに甘い香りが漂い、提供前から楽しみにされている方が多くいらっしゃいました。行事食ではお寿司が人気で、安全に美味しく食事をしていただけるように、工夫して提供しました。次年度も喜ばれる食事・おやつを考えてまいります。

他職種と共同しながら、食事摂取量の低下や体調不良、嚥下機能低下等に素早く対応し、栄養状態の低下を出来るだけ防ぐことができるように、食事でのサポートに努めてまいります。また、通所リハビリの利用者様の栄養ケアにも取り組み、地域の方にさらに貢献できるよう取り組んでまいります。

令和5年度おやつ会メニュー

	通所	2 F	3 F
4 月	お好み焼き	たこ焼き	ホットケーキ
5 月	プリンアラモード	プリンアラモード	プリンアラモード
6 月	プリンアラモード	お好み焼き	お好み焼き
7 月	ソフトクリーム	ソフトクリーム	ソフトクリーム
8 月	ソフトクリーム	たこ焼き	たこ焼き
9 月	プリンアラモード	ホットケーキ	ホットケーキ
10 月	お好み焼き	おはぎ	おはぎ
11 月	ホットケーキ	クレープ	クレープ
12 月	お好み焼き	お好み焼き	お好み焼き
1 月	白玉ぜんざい	フレンチトースト	フレンチトースト
2 月	白玉ぜんざい	ババロア	ババロア
3 月	ホットケーキ	甘酒&ひなあられ	甘酒&ひなあられ

令和 5 年度行事食メニュー

4 月	春の味覚メニュー（筍ご飯・魚の木の芽焼き・若竹汁）
5 月	季節の旬菜メニュー（豆ごはん・スナップエンドウ・茶そうめん）
6 月	あじさい御膳（あじさいゼリー）
7 月	七夕そうめん（はもの天ぷら）、土用の丑（うざく）
8 月	夏野菜メニュー
9 月	敬老のお祝い膳（赤飯）・紅白まんじゅう
10 月	秋の味覚メニュー（栗ごはん・魚の柚香焼き）
11 月	秋の味覚メニュー（芋ごはん）
12 月	クリスマスメニュー、冬至（南瓜プリン）、年越しそば
1 月	おせち料理、七草粥
2 月	節分巻き寿司
3 月	桃の節句（祭り寿司）



敬老のお祝い膳メニュー
（赤飯）



お正月料理
（バラ寿司）

●リハビリテーション課 ※令和6年3月31日現在

理学療法士 3名

作業療法士 2名

言語聴覚士 1名

1. 入所、短期入所、通所に係るリハビリテーション

当施設のリハビリテーションは、感染予防対策を行いながら入所・短期入所・通所全てにおいて担当制を実施し、利用者様お一人おひとりに合わせた訓練を理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の専門的な知識と技術をもって行っています。

2. 入所リハビリテーション

入所時のリハビリについては、ご入所後3ヵ月間において対象となる利用者様に、短期集中リハビリテーション（週5回の個別訓練）や認知症短期集中リハビリテーション（週3回の個別訓練）を実施しています。その他の利用者様には、週3回の個別訓練を実施し個別対応の強化を図っています。

また、定期的に関係者会議を開催し他職種との連携を図り日常生活動作能力の維持・向上や在宅復帰に繋がる様に努めております。

在宅復帰については、入所前や入所後1週間以内、また退所前1ヵ月以内に自宅を訪問し、住宅改修のポイントや福祉機器の選定や介助方法の指導などを行い、ご本人様やご家族様が自宅での生活を少しでも安心して送って頂けるように積極的に取り組んでいます。

3. 短期入所リハビリテーション

短期入所時のリハビリについては、当施設から自宅へ退所された方や通所リハビリテーションをご利用されている方の他に、初めて当施設の短期入所をご利用される方についてもリハビリ希望がある場合には、リハビリの目的や訓練回数など個々の希望に合わせ個別訓練を実施しています。

また、身体機能の維持・向上だけではなく福祉機器の選定なども行い、ご利用後も在宅生活を安心して送って頂けるように取り組んでいます。

4. 通所リハビリテーション

通所時のリハビリについては、要介護認定・要支援認定を受けておられる方に個別訓練や自主トレーニングの指導等を実施しており、医師と他職種やご家族様も参加していただき定期的にリハビリテーション会議を開催し、より充実した通所リハビリテーションの提供に取り組んでいます。

要介護認定を受けておられる方で、新しくご利用になられる場合には、利用開始から1ヵ月以内に自宅を訪問し、日常生活や生活環境を把握し訓練の内容に生かすようにしており、ご相談があれば住宅改修の助言も行っています。

また、体験利用される方にも、リハビリについての相談を丁寧に行い、安心してご利用して頂けるように取り組んでいます。

5. 今後の展望と課題

年齢を重ねるごとに急性期・回復期を経た後の機能的な大きな改善は難しいですが、残された能力を生かして活動することで、その後の生活能力を向上・改善させることは十分可能です。これからも利用者様お一人おひとりへの関わりを大切にし、老健施設のリハビリテーションの役割を理解し、高齢者の自立支援や重度化防止に向けて他職種協働での取組を重視していきたいと思います。また、京都山城総合医療センターリハビリテーション科との連携も強化し、更なる質の良いリハビリを提供できるよう努めていきたいと考えています。



【看護・介護部】 ※令和6年3月31日現在

看護師	10名
介護士	34名
介護補助	2名

1. 入所及び短期入所に係る看護業務及び介護業務

入所及び短期入所におきましては、回復期リハビリテーション病棟の開設に伴い、令和5年10月から当施設の定員が66床に減少となりましたが、これを一つの契機として、今まで以上に入所者様一人ひとりに寄り添い、ミニカンファレンス等において、現場の介護士、看護師、セラピストとケアマネジャー、支援相談員等の多職種が十分な情報交換・共有の機会を持つことにより、入所者様のADLや心身両面の健康状態を把握し、個々の入所者様の自立支援・在宅復帰支援に繋がる質の高い看護及び介護とリハビリテーションを提供しています。また、季節ごとのイベント・レクリエーションにも取り組み、入所者様に好評を得て喜んでいただいております。

ケアマネジャー、支援相談員、介護士、看護師、セラピストで構成し、入退所を計画的に調整・コントロールする「入退所調整会議」や、個々の入所希望者様について情報交換し、入所の判定や入所後の介護方針・留意事項の確認等を行う「入所判定会議」での議論を通じて、入退所を適切にコントロールするとともに、入所後速やかに適切な介護を提供するように努めています。

なお、職員は、同一職種内・外の勉強会や施設内・外の研修会に参加し、一人ひとりが自己研鑽に取り組むとともに、看護職、介護職及びその他の職種がお互いに協力し合える職場環境を構築するように取り組んでいます。

また、令和5年6月には、当施設（2階フロア）において、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生、利用者様や職員が感染し、終結まで約3週間を要しました。クラスター発生時には、京都山城総合医療センターの感染対策室の指導と病院からの強力なサポートにより対処することができました。

京都山城総合医療センターとの連携については、当施設の入所者様の多くを同センターから受け入れており、スムーズに入所できるよう、当施設の支援相談員と病院の地域医療連携室が連携し、情報共有を図っています。また、協力医療機関として連携することにより、医療面での安心・安全な体制を確立しています。

更に、退所後は、通所リハビリテーションや短期入所の利用により、在宅復帰された方へのケアを継続し、安心して在宅療養生活を送っていただくことができる環境を提供しています。

2. 通所リハビリテーションに係る業務

通所リハビリテーションにおきましては、利用者様が過ごしやすい環境や雰囲気づくりを心掛け、「目配り・気配り・心配り」を大切に、利用者様の満足度向上に努めています。利用者様を注意深く観察（目配り）し、次の行動・対応を考えて思いやり（気配り）、寄り添って（心配り）、気持ちよくサポートしていける環境の実現を目指して取り組んでいます。

通所日には、健康チェック（血圧、体温等測定）を行い、利用者様の希望に合わせて、セラピストと相談の上、リハビリテーション、体操や自主トレーニング、口腔体操、レクリエーション（カラオケ・ゲーム等）等を実施しています。また、医師・看護師が、バイタル測定、服薬、処置、受診等の健康面を担当し、介護士とともに見守り対応をしています。

このような連携・共同の取組により、利用者様の細かな変化を見逃さずに体調不良に気づき、家族様や担当ケアマネージャーとも連絡を取り合い、必要な受診や措置に繋げるなどのサポート体制が確立されています。

3. 今後の課題と展望

新型コロナウイルス感染症は「第五類感染症」に区分されましたが、重症者リスクが高い高齢者施設においては、他の感染症対策と併せて、引き続き利用者様が安全に楽しく生活していただけるように、利用者様・職員の健康管理に努め、感染症の発生状況等に応じて適切に対応していく必要があります。

入所者様の高齢化や介護度アップに加えて、施設区分が「超強化型」に移行する中で、入所稼働率や在宅復帰率を維持していく必要があります、引き続きカンファレンスの開催等を通じて、利用者様のニーズ・変化に対応した安心・安全で利用者満足度の高い介護サービスを提供できるよう、多職種が連携・協働して取り組むこととしています。

また、看護・介護サービスの提供に当たっては、法令等を遵守したサービス提供、利用者本位のサービス提供、高齢者の尊厳の保持に配慮したサービス提供、利用者の権利擁護に配慮したサービス提供、事故・災害等の危機管理に配慮したサービス提供等について、常に幅広い問題意識を持ってサービスを提供します。

そのため、職員には、引き続き、施設としての勉強会の開催など、職員の資質向上の取組を推進していきます。

委員会活動状況

委員会名	開催頻度（原則）	活動内容等
虐待防止委員会	2 月に 1 回	外部より監察員 2 名に参加していただき、事故報告等の中から、虐待につながるおそれのある案件等があれば内容の検証を行う。年に 2 回、高齢者虐待防止のための職員研修を企画・開催する。
事故防止安全対策委員会	月に 1 回	利用者が、安心・安全に生活を送り、生活の質の向上を図れるよう、事故・ヒヤリハットの内容を分析、原因の検証を行い、改善策を検討し、事故の再発防止を図る。年に 2 回、事故防止のための職員研修を企画・開催する。
感染防止委員会	月に 1 回	施設内の感染症及び食中毒等の予防及びまん延の防止のための対策を検討し、職員への周知を行う。年に 2 回、感染防止のための職員研修を企画・開催する。
人材育成委員会	月に 1 回	職員の質の向上を図り、その成長を支えるために、施設の人材育成制度全般のフォロー・企画等を行う。新人職員業務チェックシートを利用した新人教育を行う、また、施設内研修会の企画・開催や、外部研修参加者の推薦等を行う。
業務改善委員会	月に 1 回	職員が安全に働きやすい職場を目指し、利用者様へ質の高いサービスを提供するため、業務内容の見直しを行い、業務の統一を図るとともに、職員が働きやすい環境を考える。

サービス向上委員会	月に 1 回	利用者様に質の高いサービスを提供するため、施設生活に関するアンケート（入所後 3 ヶ月目の入所者を対象）、施設満足度調査（入所者全員を対象に年に 1 回）を行い、苦情の内容等を検証し、サービスの向上に努める。
レクリエーション委員会	月に 1 回	レクリエーションを通じて、利用者様とスタッフとの間でコミュニケーションを図り、利用者様が楽しく充実した生活を送ることができるよう、年間行事の企画・開催する。季節に応じたフロアの雰囲気作りに努める。
排泄委員会	月に 1 回	利用者様の尊厳やプライバシーを守り、個別ケアを通して快適な生活と自立支援、生活の質の向上を目指すために、各フロアでの排泄に関する問題点を挙げ、個々の利用者様に合ったオムツ類の選定や、排泄方法、介助方法等を検討する。
栄養給食委員会	2 ヶ月に 1 回	食事を通じて利用者様の生活の質の維持・向上を支援し、利用者様が安心・満足して頂ける食事サービスを提供するため、個々の利用者様のニーズに合う食事内容や飲み物、栄養補助食品等の検討を行う。また、おやつ会、行事食などを企画し、提供する。
褥瘡委員会	月に 1 回	褥瘡対策を必要とする利用者に対し、褥瘡の発生予防と早期治癒を図るため、褥瘡の状態の把握、治療方法の検討、利用者数・発生状況の把握、予防用具の管理、職員の知識向上のための研修などを行う。
衛生委員会	月に 1 回	職員の衛生に関する重要事項について調査審議し、衛生管理の円滑な推進を図る。

令和5年度 主要行事

日程	内容	フロア
5月 (4月下旬～5月上旬)	こどもの日 (1階 鎧兜展示・記念撮影)	2・3階・デイ
7月(月上旬)	七夕 (各フロアに七夕笹飾り、記念撮影)	2・3階・デイ
8月16・17日	夏祭り(おやつ会と合同開催・たこ焼き提供、 ジュース配布、ゲーム、記念撮影)	2・3階
9月17日	敬老会(プレゼント配布)	2・3階・デイ
10月23・24・25・26日	お花見(コスモス見学 恭仁京跡)	3階
12月17・24日	クリスマス会(歌謡ショー、クリスマス歌レク、 カラオケ、ゲーム、プレゼント 配布、記念撮影)	2・3階・デイ
1月(月上旬)	お正月 (書初め、正月の飾り付け、絵馬)	2・3階
2月3日	節分(鬼に扮したスタッフへカラーボールを投 げてもらふボール投げ、歌唱、記念撮影)	2・3階
3月(月上旬)	ひな祭り(1階 雛人形展示・記念撮影)	2・3階

様式7

アドバイス・レポート

令和6年1月9日

令和5年11月7日付けで第三者評価の実施をお申込みいただいた 介護老人保健施設やましろ 様
につきましては、第三者評価結果に基づき、下記のとおりアドバイスをいたしますので、今後の事業所の運営及びサービスの提供に役立ててください。

記

特に良かった点とその理由(※)	1. 事業計画 事業計画「介護老人保健施設やましろ 経営戦略」を作成しており、2019年から2028年までの10年間を中長期計画と定め、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を明示していました。事業計画はホームページにも掲載していました。 2. 事業所内の衛生管理等 施設内は全てのフロア統一で物品等は決められて置いてあり、整理整頓をしていました。清掃は外部委託をし、毎日清掃を行い、清掃点検報告書に記録していました。またトイレや汚物室にオゾン脱臭器を設置するなど臭いもありませんでした。 3. 質の向上に対する検討体制 職員の気づきを取り上げ、多職種でミニカンファレンスを行っていました。その内容は必要に応じて、フロア会議や各部署代表者が参加する定例会で検討した結果、介護ロボット（移乗動作支援器具）の導入につながっていました。また、各会議の議事録を各階の休憩室に置き、職員全員が目を通して押印し確実な情報共有を行っていました。全国老人保健施設協会の雑誌「老健」や、介護老人保健施設大会の参加により収集したアイデアを迅速に取り入れていました。
特に改善が望まれる点とその理由(※)	1. 第三者への相談機会の確保 利用者から寄せられた苦情は苦情報告書を回覧し、多職種が参加する会議で検討していました。公的機関、自治体の連絡先を1階面会スペースの見やすい場所に掲示していましたが、民間や地域の第三者の相談窓口がありませんでした。また、利用者の相談機会を確保するための外部の人材の受け入れはありませんでした。

具体的なアドバイス	1. 第三者への相談機会の確保 介護相談員の受け入れや外部の人材を相談窓口として設置することにより、直接施設に言いにくい相談や苦情があった場合も拾い上げることができ、迅速に対応することができます。また地域の方（民生児童委員や自治会長等）に第三者の相談窓口を依頼することで施設運営の透明性の確保も期待できますので検討されてはいかがでしょうか。
-----------	---

※それぞれ内容を３点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントを「評価結果対比シート」に記載しています。

(様式6)

評価結果対比シート

事業所番号	2653580015
事業所名	介護老人保健施設やましろ
受診メインサービス (1種類のみ)	介護老人保健施設
併せて評価を受けたサービス (複数記入可)	短期入所療養介護 介護予防短期入所療養介護
訪問調査実施日	令和5年12月8日
評価機関名	一般社団法人 京都府介護福祉士会

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅰ 介護サービスの基本方針と組織						
(1) 組織の理念・運営方針						
	理念の周知と実践	1	組織の理念及び運営方針を明確化・周知している。また、法人の経営責任者（運営管理者含む）及び事業所の職員全員が、理念及び運営方針に沿ったサービスの提供を実践している。		A	A
	組織体制	2	経営責任者（運営管理者含む）は、公正・適切なプロセスで意思決定を行い、組織としての透明性の確保を図っている。		A	A
	(評価機関コメント)		1. 理念は各会議室及び各フロア、地域交流スペースに掲示している他、ホームページに掲載していました。また、定例会やフロア会議でも理念を唱和していました。利用者や家族にはパンフレットに掲載することで周知していました。 2. 国民健康保険山城病院組合（法人）による組合議会は年2回の定例会及び、必要に応じて臨時議会を開催して予算・決算等を決定していました。各事務分掌（管理職・技術職・事務職）にて職務権限を明確にしていました。また、各種会議委員会に担当する職員が参加することで、職員の意向を反映する仕組みがありました。			
(2) 計画の策定						
	事業計画等の策定	3	組織として介護サービスの質の向上に向けた計画を策定するとともに着実に実行している。また計画策定には多角的な視点から課題を把握している。		A	A
	業務レベルにおける課題の把握と目標の設定	4	各業務レベルにおいて課題を把握し、課題解決のための目標が設定され、各部門全体が組織的に目標の達成に取り組んでいる。		A	A
	(評価機関コメント)		3. 事業計画「介護老人保健施設やましろ 経営戦略」を作成しており、2019年から2028年までの10年間を中長期計画と定め、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を明示していました。事業計画はホームページにも掲載していました。 4. 看護・介護部、各委員会、各フロアにおいて年間目標及び月間目標を作成していました。半期で見直しを行い次年度の目標設定に繋げていました。			
(3) 管理者等の責任とリーダーシップ						
	法令遵守の取り組み	5	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。		A	A
	管理者等によるリーダーシップの発揮	6	は、自らの役割と責任を職員に対して表明し、サービスの質の向上や経営の改善、業務の実効性を高めるため事業運営をリードしている。		A	A
	管理者等による状況把握	7	経営責任者又は運営管理者は、事業の実施状況等を把握し、いつでも職員に対して具体的な指示を行うことができる。		A	A

		(評価機関コメント)	5. 運営管理者は京都府主催のBCP（事業継続計画）研修に参加していました。また、関係法令一覧を事務所に設置しているパソコンのフォルダ内に作成し、誰でも調べることができるようになっていました。定例会及び各フロア会議にて法令改定の周知を行っていました。 6. 管理職事務分掌表にて役割を文章化していました。運営管理者はフロア会議などに参加し意見を述べ、職員の意見も聞いて運営方針に反映していました。また、年1回実施の個人評価表にて施設長、副施設長、部長へのコメント欄を設け、職員からの評価を実施していました。 7. 運営管理者は携帯電話を所持し、いつでも連絡がつく体制となっていました。療養棟管理日誌により随時状況を把握していました。また、緊急連絡網を整備し、緊急時には運営管理者に連絡できる体制になっていました。
--	--	------------	---

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ 組織の運営管理						
(1) 人材の確保・育成						
		総合的な人事管理	8	人事管理は、理念・運営方針にもとづく「期待する職員像等」を明確にしたうえで、能力開発（育成）、活用（採用・配置）、処遇（報酬等）、評価等が総合的に実施される仕組みがある。	A	A
		質の高い人材の確保	9	質の高い介護サービスを提供できる人材の確保のために、必要な人材や人員体制についての管理・整備を行っている。	A	A
		計画的な人材育成と継続的な研修・OJTの実施	10	採用時研修・フォローアップ研修等を実施し、段階的に必要な知識や技能を身につけることができる。また業務を通じて日常的に学ぶことを推進しており、スーパービジョンを行う体制がある。	A	A
		実習の受け入れ	11	実習の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	A	A
		(評価機関コメント)		8. 「介護老人保健施設介護職員人財育成計画」において期待する職員像を明文化していました。個人評価個別表を用いて職務遂行能力や成果・貢献度を評価していました。 9. 質の高い介護サービスの提供を実現するために、定数以上の職員配置としており、職員の配置や人事に関する検討については定数表を用いて行っていました。 10. 各階層ごとに研修を計画し実施していました。また、フロア会議内でフロア勉強会を実施することで、今必要な研修を行う仕組みとなっていました。今回は「PPE（感染予防具）着脱手順研修」を実施していました。資格取得支援として、介護福祉士国家試験受験費用、実務者研修費用取り扱い規約を定め、補助をしていました。 11. 実習受け入れマニュアルを整備し、受け入れの基本方針や手順を明記していました。また、養成学校の実習指導者会議に参加し、他施設の指導者や学校関係者と情報交換を行っていました。		
(2) 労働環境の整備						
		労働環境への配慮（働きやすい職場づくり）	12	質の高い介護サービスを提供することができるよう、職員の労働環境に配慮している。	A	A
		ストレス管理	13	職員の業務上の悩みやストレスを解消するために、具体的な取り組みを行い業務の効率を高めている。また、職員が充分にくつろげ、心身を休めることができる休憩場所を確保し必要な環境を整備している。	A	A
		(評価機関コメント)		12. 有給休暇消化率や時間外労働をデータ化し、安全衛生委員会で有給休暇取得日数や時間外労働の確認及び対策検討をしていました。育児・介護休業の規程も就業規則に定めていました。職員の負担軽減として介護記録ソフトの導入や、立ち上がり補助器具等の福祉用具を活用していました。また、年1回以上の副施設長による面談の機会を設けていました。 13. メンタルヘルスの相談窓口として、隣接する病院の臨床心理士によるカウンセリングが受けられるよう連絡先を職員に配布していました。また、「ハラスメントをなくすために職員が認識すべき事項についての指針」を定めていました。職員がゆったりと休息できる広さの休憩室を設けていました。福利厚生制度は京都市府町村職員共済組合を活用していました。		
(3) 地域との交流						
		地域との連携・情報発信	14	事業所の運営理念や事業所情報を地域に発信するとともに、地域の情報を積極的に収集してサービス提供に活かしている。また、地域の各種団体や機関、介護サービス事業所等と連携している。	A	A

地域との交流（入所系・通所系サービスのみのみ）	15	ボランティアの受入れ、地域の学校教育への協力を通じて様々な地域との交流を積極的に行っている。	A	A
地域への貢献	16	事業所が有する機能を地域に還元している。 事業所の特性を活かした地域貢献活動を行っている。	A	A
(評価機関コメント)	14. 理念に、地域との関わり方の基本的な考えを明文化していました。広報紙「Design」やパンフレットを、家族や地域の関係機関に配布していました。「木津東部圏域ネットワーク会議（地域ケア会議）」に参加し、地域ニーズを把握していました。また、その会議において自施設の取り組みも紹介していました。 15. 「介護老人保健施設やましろ外部レクリエーション活動実施要綱」を定め、ボランティア受け入れの基本姿勢を明文化していました。実習生受け入れマニュアルは、イラストを用いて理解しやすいようにしていました。 16. 山城南圏域地域リハビリテーション支援センターの研修会に講師として参加していました。病院併設の特性を生かし、併設病院が主催する「救急の日」のイベントに参加し、車椅子の操作方法の指導をしていました。			

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価

Ⅲ 適切な介護サービスの実施

(1) 情報提供

事業所情報等の提供	17	利用者（希望者含む）に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
(評価機関コメント)	17. パンフレットやホームページは、サービス内容を写真付きで説明することで視覚的に内容が理解できるようにしている他、料金等の必要な情報を掲載していました。現在、見学は制限を設けていますが、施設内の雰囲気やサービス内容がわかる動画を作成し、見学の問い合わせがあった際は動画で説明していました。			

(2) 利用契約

内容・料金の明示と説明	18	介護サービスの利用に際して必要となる内容や料金について、利用者に分かりやすく説明し同意を得ている。	A	A
(評価機関コメント)	18. 介護保険外のサービスも含め、重要事項説明書と契約書と別紙で料金の説明を行い、契約を交わしていました。判断能力に支障がある利用者は、成年後見人と契約を交わしていました。地域交流スペースに成年後見制度や権利擁護事業のパンフレットを設置していました。			

(3) 個別状況に応じた計画策定

アセスメントの実施	19	利用者一人ひとりの心身の状況や生活状況を踏まえたうえでアセスメントを行っている。	A	A
利用者・家族の希望尊重	20	個別援助計画等の策定及びサービスの提供内容の決定に際して、利用者及びその家族の希望を尊重している。	A	A
専門職種を含めた意見集約	21	個別援助計画等の策定に当たり、必要に応じて利用者の主治医・リハビリ職（OT/PT/ST等）・介護支援専門員・他のサービス事業所等に意見を照会している。	A	A
個別援助計画等の見直し	22	定期的及び必要に応じて、個別援助計画等の見直しを行っている。	A	A
(評価機関コメント)	19. 所定のアセスメント様式で利用者の希望を聞き取り、主治医やリハビリ職などと連携し、アセスメントを行っていました。初回のアセスメントは2週間後に見直し、その後は状態の変化等がなければ3か月後に見直ししていました。 20. 利用者やその家族の希望を尊重し、サービス担当者会議を経て、アセスメントに基づき施設サービス援助計画を作成していました。施設サービス援助計画を本人や家族に説明と同意を得て、サービスの提供をしていました。 21. 主治医、看護師、介護職、介護支援専門員、リハビリ職、栄養士など多職種とサービス担当者会議を行い、意見照会や意見交換を行って合議の基で施設サービス援助計画を作成していました。 22. 施設サービス援助計画を変更する基準を定め、初回は2週間後、その後は体調の変化等がなければ3か月後にモニタリング、サービス担当者会議を行い、施設サービス援助計画を作成していました。また、状態の変化等があればカンファレンスを行い、施設サービス援助計画を変更していました。毎日の申し送りや介護記録ソフトで利用者の状況の変化を確認し、見直しがあった場合はプリントアウトした施設サービス援助計画書と介護記録ソフトで関係職員に周知していました。			

(4) 関係者との連携				
多職種協働	23	利用者のかかっている医師をはじめ、関係機関との間で、連携体制又は支援体制が確保されている。	A	A
サービス移行時の連携・相談対応	24	利用者の状況変化等により、他サービスへの移行をする場合や、介護施設を変更する場合の連携がとれている。	A	A
(評価機関コメント)		23. 主治医である施設長と密に情報や意見の交換を行っていました。入院時は入院先に情報提供を行い、退院時は書類だけでなく、面談やカンファレンスで情報共有をしていました。地域の木津東部圏域ネットワークで研修講師を派遣したり、会議に参加するなど地域包括支援センターや行政などと連携していました。 24. 「入所～退所までの流れ」を文書で定め、他の介護施設・事業所や地域・在宅へのサービスの移行に当たり、引き続き以前利用していたサービスを使えるように配慮していました。在宅復帰の際は家屋調査を行い、在宅サービス担当者が集まるサービス担当者会議を行い、在宅生活を支援していました。		
(5) サービスの提供				
業務マニュアルの作成	25	事業所業務について、標準的な実施方法（業務マニュアル）が整備され、スタッフに活用されている。標準的な実施方法は自立支援につながり、事故防止や安全確保を踏まえたものになっている。	A	A
サービス提供に係る記録と情報の保護	26	利用者の状況及びサービスの提供状況等が適切に記録されており、管理体制が確立している。	A	A
職員間の情報共有	27	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
利用者の家族等との情報交換	28	事業者はサービスの提供にあたって、利用者の家族等との情報交換を行っている。	A	A
(評価機関コメント)		25. 業務マニュアルはポイントを押さえて具体的な内容で作成し、利用者の尊厳の保持、プライバシーの保護や権利擁護にかかわる姿勢を明示していました。月に1回フロア会議で業務マニュアルに基づいて実施しているか確認する仕組みがあり、マニュアルは年に1回更新していました。また見直しに当たっては苦情や事故防止策などの具体案を反映していました。 26. 組織が定めた統一した様式で介護記録ソフトと紙カルテで利用者一人ひとりの記録をしていました。個人情報取扱要領を作成し、個人情報の規程を周知していました。また年に1回コンプライアンス及び個人情報保護の基礎研修を行っていました。 27. 毎日16時に各フロア職員と介護支援専門員が集まって申し送りを行い、利用者の状況等に関する情報を共有していました。月に1回フロア会議や3か月に1回サービス担当者会議、利用者に変化があった場合は随時カンファレンスを行い、意見集約を行い、利用者を支援していました。 28. 家族が遠方などにより面談が難しい方には3か月に1回は電話で連絡を取り、状況を伝えていました。電話や対面談・オンライン面談を複合的にを行い、情報交換を工夫していました。		
(6) 衛生管理				
感染症の対策及び予防	29	感染症の対策及び予防に関するマニュアルの作成等により、職員全員が感染症に関する知識をもってサービスの提供を行っている。	A	A
事業所内の衛生管理等	30	施設（事業所）内における物品等の整理・整頓及び衛生管理を行い、効率的かつ安全なサービスの提供を行っている。	A	A
(評価機関コメント)		29. 感染防止対策マニュアルと感染症BCP（事業継続計画）を作成し、責任と役割を明確にした管理体制を整備していました。年に2回感染症予防対策研修を行い、感染症対策等に関する知識を伝達していました。陰圧装置を導入し、実際に感染症が発生した場合の対策を行い、感染予防をしていました。 30. 施設内は全てのフロア統一で物品等は決められて置いてあり、整理整頓をしていました。清掃は外部委託をし、毎日清掃を行い、清掃点検報告書に記録していました。またトイレや汚物室にオゾン脱臭器を設置するなど臭いもありませんでした。		

(7) 危機管理					
事故・緊急時の対応	31	事故や緊急時における対応等を定めたマニュアルがあり、年に1回以上、必要な研修又は訓練が行われている。	A	A	
事故の再発防止等	32	発生した事故等に係る報告書や記録を作成し、事故の再発の防止のために活用している。	A	A	
災害発生時の対応	33	災害発生時における対応等を定めたマニュアルがあり、年に1回以上、必要な研修又は訓練が行われている。	A	A	
事業の維持・継続の取り組み	34	大規模な自然災害、感染症まん延等に備えて、被害の拡大を抑え事態を迅速に収束させ、事業を維持する体制を整えている。	A	A	
(評価機関コメント)		31. マニュアルを作成し、全職員向けに緊急時対応研修を実施していました。 32. 事故報告書を作成し、原因分析、改善策を立て、1週間後に評価していました。事故防止安全対策委員会で検討した再発防止策をマニュアルに反映していました。 33. 防災マニュアルを定め、各階の職員室に設置していました。併設の病院と連携し、消防訓練、災害訓練を実施していました。保健所や市役所と連携し「災害時情報共有システム」を活用した訓練を実施していました。 34. BCPを作成し訓練「PPE（感染予防具）着脱手順」を行っていました。実際の災害を想定し備蓄品を管理していました。			

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価

Ⅳ利用者保護の観点

(1) 利用者保護					
人権等の尊重	35	利用者本位のサービス提供及び高齢者の尊厳の保持に配慮したサービス提供を行っている。	A	A	
利用者の権利擁護	36	虐待防止、身体拘束禁止等の利用者の権利擁護に配慮したサービス提供を行っている。	A	A	
プライバシー等の保護	37	利用者のプライバシーや羞恥心について、常に問題意識をもってサービスの提供を行っている。	A	A	
利用者の決定方法	38	サービス利用者等の決定を公平・公正に行っている。	A	A	
(評価機関コメント)		35. 基本理念に利用者本位の自立支援を定め、各階や会議室に掲示し、会議内で唱和を行っていました。また、入職時や全職員対象に権利擁護の研修を実施していました。 36. 虐待防止対応規程を定めている他、運営規程に記載していました。各階に身体拘束禁止を掲示していました。全職員対象に年に2回研修を実施していました。現場で不適切ケアが生じた場合、ミニカンファレンスやフロア会議で検討していました。 37. 脱衣室の扉の前にカーテンを取り付け、廊下から室内が見えないよう羞恥心に配慮していました。1階の面会スペースはテーブルごとにパーテーションで仕切っていました。入職時やフロア会議でプライバシー保護の勉強会を実施していました。 38. 入所判定会議で入所の可否を決定していました。利用申込を受け入れられない場合は利用者や家族に理由を説明し、他の事業所や専門機関を紹介していました。			
(2) 意見・要望・苦情への対応					
意見・要望・苦情の受付	39	利用者の意向（意見・要望・苦情）を広く拾い上げ、収集する仕組みが整備され、利用者等に周知されている。	A	A	
意見・要望・苦情等への対応の仕組みとサービスの改善	40	利用者の意向（意見・要望・苦情）に迅速に対応するとともに、サービスの向上に役立てている。	A	A	
第三者への相談機会の確保	41	公的機関等の窓口相談や苦情を訴えるための方法を、利用者及びその家族に周知している。	B	B	

(評価機関コメント)		39. 各階に用紙「皆様の声」があり、玄関に投書箱を設置していました。投書箱は毎日相談員が確認していました。また相談員や介護支援専門員がフロアをラウンド（巡回）し、随時利用者の意向を聴き取るほか、家族が洗濯物を取りに来所した時に聴き取りをしていました。意思表示の難しい利用者はアセスメントシートを活用したり、職員の気づきをミニカンファレンスで共有していました。 40. 苦情マニュアルを定め、苦情報告書を作成して役職者・管理者に報告し、玄関前に掲示していました。意見や苦情はサービス向上委員会で取り上げ、改善に向け検討していました。 41. 利用者から寄せられた苦情は苦情報告書を回覧し、多職種が参加する会議で検討していました。公的機関、自治体の連絡先を1階面会スペースの見やすい場所に掲示していますが、民間や地域の第三者の相談窓口がありませんでした。また、利用者の相談機会を確保するための外部の人材の受け入れはありませんでした。		
(3) 質の向上に係る取組				
利用者満足度の向上の取組み	42	利用者の満足度を把握し、サービスの質の向上に役立てている	A	A
質の向上に対する検討体制	43	サービスの質の向上に係る検討体制を整備し、運営管理者を含む各部門の全職種の職員が積極的に参加している。	A	A
評価の実施と課題の明確化	44	サービス提供状況の質の向上のため、定期的に評価を実施するとともに、評価結果に基づいて課題の明確化を図っている	A	A
(評価機関コメント)		42. 年に1回満足度調査を行い、サービス向上委員会で分析、検討していました。満足度調査の結果は各階の廊下の車いすの利用者に配慮した高さに掲示していました。また、入所3か月後に利用者アンケートを実施していました。 43. 職員の気づきを取り上げ、多職種でミニカンファレンスを行っていました。その内容は必要に応じて、フロア会議や各部署代表者が参加する定例会で検討した結果、介護ロボット（移乗動作支援器具）の導入につながっていました。また、各会議の議事録を各階の休憩室に置き、職員全員が目を通して押印し確実な情報共有を行っていました。全国老人保健施設協会の雑誌「老健」や、介護老人保健施設大会の参加により収集したアイデアを迅速に取り入れていました。 44. 法人の中長期計画に基づき施設の年間事業計画を策定していました。施設の事業計画に沿って部署やフロアごとの目標を立て、中間と年度末に評価を行い、次年度の計画に反映していました。		

令和5年度 介護老人保健施設やましろ 施設満足度調査結果(入所ご家族様)

調査対象: 令和5年12月末時点での入所者のご家族様 58名

配布方法: 令和5年12月利用分の請求書に添付してご家族様に配布(令和6年1月5日～)

回収方法: 施設受付に提出または、備え付けの意見箱『皆様の声』に投函(令和6年2月6日締切)

配布数: 58

回収数: 34

回収率: 58.6%

集計結果

1. 施設を利用した目的は何ですか？(複数回答可)

	リハビリ	在宅生活 継続困難	家族の 負担軽減	その他	無回答	(その他) ・病院から特養入所までの準備待機
回答数	15	28	14	1	0	

2. 職員について

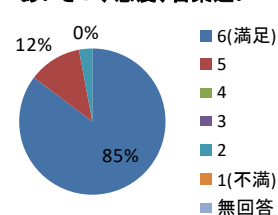
(1) あいさつ、態度や言葉遣いはきちんとできていますか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	29	4	0	0	1	0	0	34	5.8
%	85.3	11.8	0	0	2.9	0	0	100	

(ご意見)

・受付等1階のスタッフの方はみんな良いです。

あいさつ、態度、言葉遣い

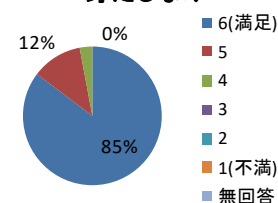


(2) 身だしなみはいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	29	4	1	0	0	0	0	34	5.8
%	85.3	11.8	2.9	0	0	0	0	100	

(ご意見)

身だしなみ



3. 相談・サービス計画書(ケアプラン)について

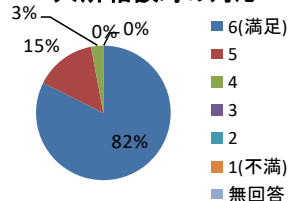
(1) 入所相談時の対応はいかがでしたか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	28	5	1	0	0	0	0	34	5.8
%	82.4	14.7	2.9	0	0	0	0	100	

(ご意見)

・病院と連携しているので安心である。体調が安定しているので家族は安心できる。
・相手本位で相談に対応していただきました。

入所相談時の対応

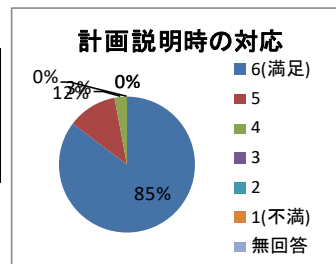


(2) サービス計画説明時の対応はいかがでしたか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	29	4	1	0	0	0	0	34	5.8
%	85.3	11.8	2.9	0	0	0	0	100	

(ご意見)

・たくさんの資料を用意して頂き、様子がよくわかる。本人は勝手・気ままな性格なので、厳しく接してもらってもいい。

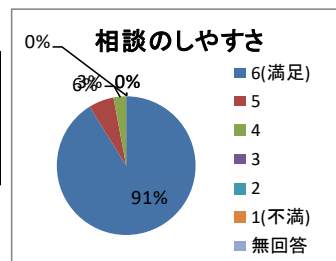


(3) 職員に相談はしやすいですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	31	2	1	0	0	0	0	34	5.9
%	91.2	5.9	2.9	0	0	0	0	100	

(ご意見)

・話しやすい。穏やかに接して下さる。

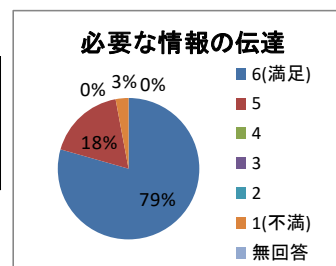


(4) 職員から必要な情報は伝わっていますか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	27	6	0	0	0	1	0	34	5.7
%	79.4	17.6	0	0	0	2.9	0	100	

(ご意見)

・細部まで説明いただいた。



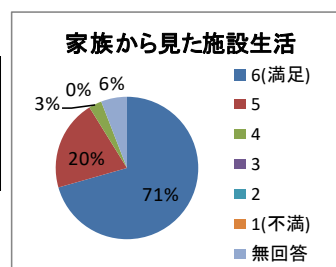
4. 日々の生活について

(1) ご家族様から見た当施設での生活(入所後の様子等)はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	24	7	1	0	0	0	2	34	5.7
%	70.6	20.6	2.9	0	0	0	5.9	100	

(ご意見)

・本人は満足している様に思う。帰宅願望もあるが、食事も本人に合わせてもらっているので、体調も良さそう。職員さんも良くしてくれるからと言っている。
 ・コロナでどのような生活をしているか全くわからない。(場所等)
 ・施設内での生活がわかっていない。
 ・高齢のため食事の好き嫌いがはっきりしている為不満が出ている様に思います。
 ・満足ですがあまり分からないが本当のことかと思う。
 ・まだわかりません。
 ・落ち着いてきました。

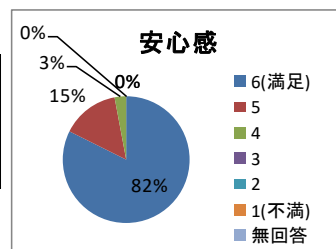


(2) 安心感はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	28	5	1	0	0	0	0	34	5.8
%	82.4	14.7	2.9	0	0	0	0	100	

(ご意見)

・細かなことまで把握いただいています。



(その他のご意見・ご要望等)

- ・いつもありがとうございます。感謝しています。
 - ・事務員さん、又、相談員さんの対応が親切で、すごく満足しています。母親をやましろに預けて良かったと思っています。
 - ・いつもお世話になり感謝しています。
 - ・いつも良くしていただいて有難うございます。私も介護士なので、大変さが良くわかります。
 - ・尿汚染のせんたく物が増えてご迷惑をかけ、恐縮しております。何か対策できることがあればお知らせいただけるとありがたいです。本当にご迷惑をおかけし、申し訳ありません。
 - ・介護老人保健施設の入所期限が過ぎているにも関わらず、入所させていただき、ありがとうございます。介護付き有料老人ホームの入所希望を出している。そこへの入所がかなうまで、もうしばらくやましろさんでお願いしたいです。よろしくお願いします。
 - ・コロナ禍で(情報不足も含め)減点。
 - ・入所前から入所後まで対応に満足しており、ありがたいです。
-
- ・携帯電話の持ち込みを許可していただきたいです。
⇒携帯電話につきましては、個室利用の方のみ許可させていただいております。4人部屋利用の方には、ペースメーカーの方や同室者への影響等も考慮し、持ち込みをご遠慮いただいております。ご理解ご協力をお願いいたします。
 - ・ケアマネさんとの連絡、連携が少し足りないように感じました。もう少し密に連絡いただければ良かったです。
⇒必要に応じてケアマネジャーからご家族様へ連絡を取らせていただいておりますが、今後もご家族様に必要な情報が伝わるよう努力してまいります。ご家族様からも気になること等がございましたら、ご遠慮なくお声掛けください。よろしくお願いいたします。

◎今年度も、新型コロナウイルス感染予防のため、ご利用者様、ご家族様には様々なご理解、ご協力をいただき大変ありがとうございました。また、今回のアンケートでは貴重なご意見とともに、多くの励ましや感謝のメッセージをいただきありがとうございました。今後も、ご利用様に安心安全に楽しくお過ごしいただけるよう、施設として取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

令和5年度 介護老人保健施設やましろ 施設満足度調査結果(入所者様)

調査対象: 令和5年12月末時点での入所者様 58名

配布方法: 入所者様に直接配布又は聞き取り

回収方法: ケアマネジャー・相談員が回収

配布数: 58

回収数: 58

回収率: 100.0%

集計結果

1. 職員について

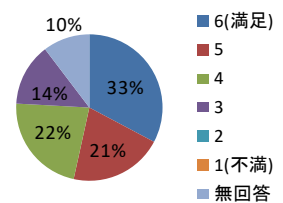
(1) あいさつ、態度や言葉遣いはきちんとできていますか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	19	12	13	8	0	0	6	58	4.8
%	32.8	20.7	22.4	13.8	0	0	10.3	100	

(ご意見)

- ・愛想のない人もいます。
- ・人によって違います。
- ・キッチンとしている人、出来ていない人混合している。
- ・人によって違います。やさしく言ってほしい。

あいさつ、態度、言葉遣い



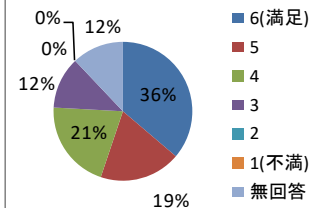
(2) 身だしなみはいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	21	11	12	7	0	0	7	58	4.9
%	36.2	19	20.7	12.1	0	0	12.1	100	

(ご意見)

- ・制服を着ているので…

身だしなみ



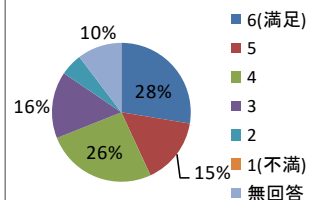
(3) 相談はしやすいですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	16	9	15	9	3	0	6	58	4.5
%	27.6	15.5	25.9	15.5	5.2	0	10.3	100	

(ご意見)

- ・よく話を聞いてくれます。
- ・耳が遠いので…
- ・まだ慣れてないし。
- ・相談しても内容を理解していない人がいる。
- ・相談しやすい人とそうでない人がいる。(他3名)
- ・きつい人がいる。

相談のしやすさ



2. リハビリについて

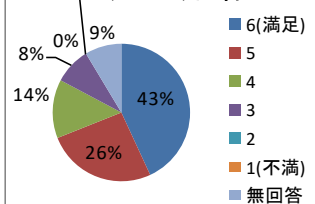
(1) 内容はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	25	15	8	5	0	0	5	58	5.1
%	43.1	25.9	13.8	8.6	0	0	8.6	100	

(ご意見)

- ・計画に従ってきちんとやっている。
- ・上手にしてくれる。ちゃんと親切に教えてくれる。
- ・十分でございます。
- ・いろいろと教えてくれます。(他1名)
- ・こんなもんやと思います。
- ・日によって態度が違う。

リハビリ内容

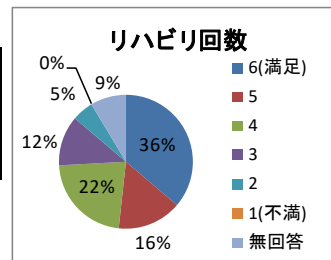


(2) 回数はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	21	9	13	7	3	0	5	58	4.7
%	36.2	15.5	22.4	12.1	5.2	0	8.6	100	

(ご意見)

- ・十分でございます。
- ・3回で結構です。
- ・もっと増やしてほしい。(他4名)



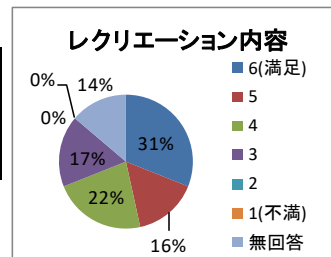
3. レクリエーションについて

(1) 内容はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	18	9	13	10	0	0	8	58	4.7
%	31	15.5	22.4	17.2	0	0	13.8	100	

(ご意見)

- ・カラオケが楽しい。
- ・コーヒー美味しいです。楽しみにしています。(他1名)
- ・普通
- ・個室で自分のペースで過ごすことが多いです。
- ・風邪が流行っている状態では良いとは言えない。
- ・いろいろな階層の人を扱うのでみんなを満足させることは無理。しかし全員が知っていて欲しいこと(今年お札のデザインが変わること)を話題に！

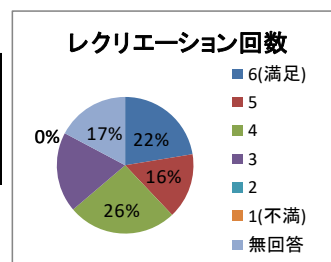


(2) 回数はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	13	9	15	11	0	0	10	58	4.5
%	22.4	15.5	25.9	19	0	0	17.2	100	

(ご意見)

- ・頑張って参加しています。(他1名)
- ・わからない。



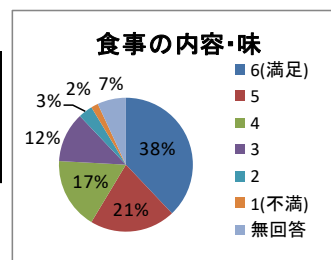
4. 食事・おやつについて

(1) 食事の内容・味はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	22	12	10	7	2	1	4	58	4.8
%	37.9	20.7	17.2	12.1	3.4	1.7	6.9	100	

(ご意見)

- ・3食パンにしてほしい。
- ・あまり食欲がなく残すのが心苦しい。
- ・味噌汁が辛いように感じる。
- ・何でも残さず頑張って食べます。
- ・たまにものすごく味が悪いのがある。
- ・もうちょっと美味しくしてほしい。
- ・カレー、ハヤシライスを増やしてほしい。
- ・薄味の時がある。(他1名)
- ・普通食が食べたい。
- ・ちょっと辛い。
- ・同じようなメニューばかり。

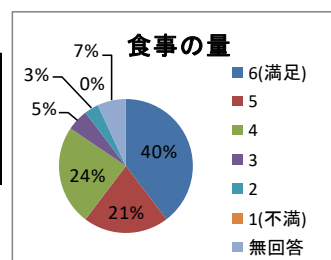


(2) 食事の量は適量ですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	23	12	14	3	2	0	4	58	4.9
%	39.7	20.7	24.1	5.2	3.4	0	6.9	100	

(ご意見)

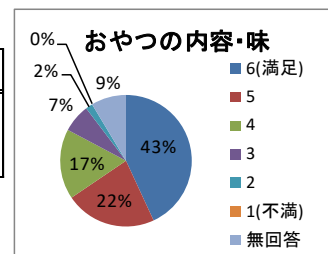
- ・パンが小さくなった。
- ・もっと増やしてほしい。
- ・体重が維持されている。血中成分のバランスも良い。
- ・最近よく太ったと言われます。
- ・白ごはんが少ない。
- ・少ない。



(3) おやつの内容・味はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	25	13	10	4	1	0	5	58	5.1
%	43.1	22.4	17.2	6.9	1.7	0	8.6	100	

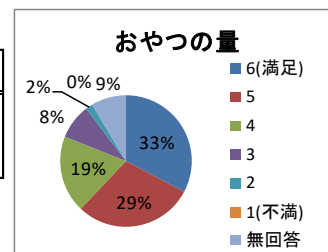
・甘いものばかり。



(4) おやつ量は適量ですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	19	17	11	5	1	0	5	58	4.9
%	32.8	29.3	19	8.6	1.7	0	8.6	100	

・少ない。(他1名)



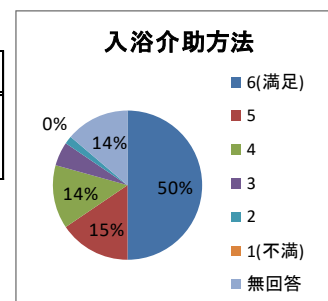
5. 入浴について

(1) 介助の方法はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	29	9	8	3	1	0	8	58	5.2
%	50	15.5	13.8	5.2	1.7	0	13.8	100	

(ご意見)

- ・少しお節介気味。
- ・上手にしてくれます。
- ・お風呂は好きです。
- ・体の具合でほとんど手伝ってもらっていますが、上手にしてくれます。
- ・もう1分間きれいに洗ってほしい。
- ・本当は機械浴で入りたい。
- ・あらい人がいる。

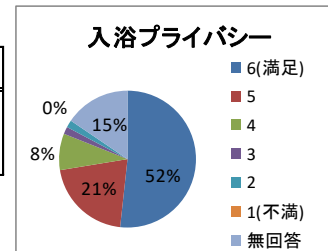


(2) 恥ずかしくないように配慮されていますか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	30	12	5	1	1	0	9	58	5.4
%	51.7	20.7	8.6	1.7	1.7	0	15.5	100	

(ご意見)

- ・OK
- ・こんな年寄りでも塩梅してくれます。



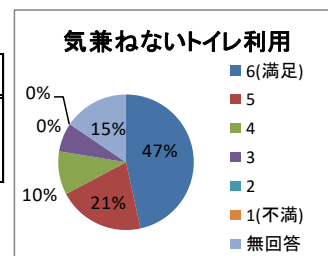
6. 排泄について

(1) トイレを利用したい時に気兼ねなく利用できていますか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	27	12	6	4	0	0	9	58	5.3
%	46.6	20.7	10.3	6.9	0	0	15.5	100	

(ご意見)

- ・個室で一部介助。
- ・個室なので。

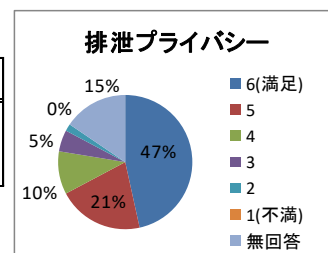


(2) 排泄時のプライバシーに配慮されていますか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	27	12	6	3	1	0	9	58	5.2
%	46.6	20.7	10.3	5.2	1.7	0	15.5	100	

(ご意見)

- ・個室なので。
- ・人による。
- ・ノックしない人がいて困る。

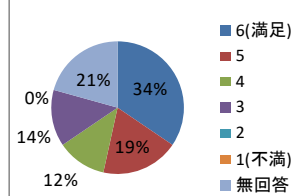


(3) 介助の方法はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	20	11	7	8	0	0	12	58	4.9
%	34.5	19	12.1	13.8	0	0	20.7	100	

- ・行きたい時に連れて行ってくれる。
- ・自分でだいたい出来るようになりました。
- ・自分で出来ています。(他2名)
- ・たまにこわい人がある。

排泄介助方法



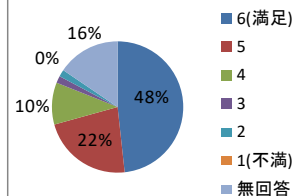
7. 施設環境について

(1) 部屋・ベッド周りの清潔さはいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	28	13	6	1	1	0	9	58	5.3
%	48.3	22.4	10.3	1.7	1.7	0	15.5	100	

- (ご意見)
- ・よく掃除してくれています。
 - ・トイレに便が落ちていた。

部屋・ベッド周り清潔

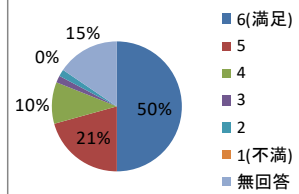


(2) 施設内の照明の明るさはいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	29	12	6	1	1	0	9	58	5.4
%	50	20.7	10.3	1.7	1.7	0	15.5	100	

(ご意見)

照明の明るさ

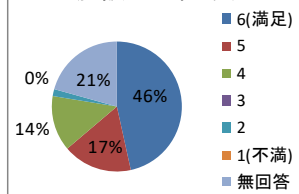


(3) 施設内の音や臭いはいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	27	10	8	0	1	0	12	58	5.3
%	46.6	17.2	13.8	0	1.7	0	20.7	100	

- (ご意見)
- ・部屋が騒がしいのは嫌だから個室に変わりたい。

施設内の音・臭い



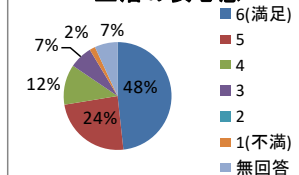
8. 日々の生活について

(1) ここでの生活の安心感はいかがですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	28	14	7	4	0	1	4	58	5.2
%	48.3	24.1	12.1	6.9	0	1.7	6.9	100	

- (ご意見)
- ・自宅(留守宅)が心配です。
 - ・携帯を持ちたい。
 - ・安心して過ごせている。

生活の安心感

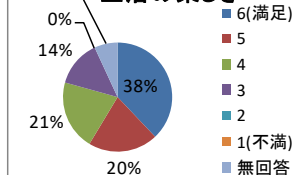


(2) ここでの生活は楽しいですか。

	6(満足)	5	4	3	2	1(不満)	無回答	合計	平均ポイント
回答数	22	12	12	8	0	0	4	58	4.9
%	37.9	20.7	20.7	13.8	0	0	6.9	100	

- (ご意見)
- ・楽しく過ごしています。
 - ・ここが好きです。
 - ・普通かな。
 - ・制約が多い。事故防止に気を遣いすぎ…。

生活の楽しさ



(その他のご意見・ご要望等)

- ・感謝しています。
 - ・ここにいて言うことなしです。
 - ・歩けるようになって幸せです。
 - ・スタッフはみんな親切だよ！
 - ・みんなあんじょうしてくれます。
 - ・職員の人は良くしていただいていますので満足しています。リハビリは楽しいです。
 - ・ここに來れて幸せ。死ぬまでいます。命ある間はいます。
 - ・みんなと仲良くしたいです。
 - ・まあまあ満足しています。
 - ・息子にもっと面會に來るように言うといってください。
 - ・冬場はみかんが多く、皮ごと食べると便がやわらかくなる。身だけ食べて皮を残すのも見た目に感じが良くないのでバナナやときれいに食べれると思います。
 - ・塗り絵したら時間が経つのが早いです。
 - ・アンケートに答えることはできません。
 - ・コロナで人の出入りについて制限はありますが、自宅にいるよりここは天国です。皆ようしてくれます。
 - ・皆さんに全てお任せしています。
 - ・本当は家で生活がしたいです。
 - ・良いことも悪いこともあります。家に帰りたいです。
 - ・家族に迎えに來て欲しい。
-
- ・家に連絡を取りたい。マスクをしていない人がいる。
⇒職員は全員マスク着用で勤務させていただいております。ご利用者様にもお声掛けし、出来るだけマスクを着用していただいておりますが、認知症等の関係で着用が難しい方もおられます。感染に気をつけながらマスク着用の感染防止対策に取り組んでまいります。
 - ・人にもよるが、言葉遣いで腹が立つことがある。良い人はいいよ。
⇒今後も継続的に接遇研修等を実施し、職員教育を行ってまいります。
 - ・脱衣場が寒い(他1名)。
⇒脱衣場につきましては、以前から寒いとのご意見があり、エアコンの温度調整や、電気ストーブを併用する等の対応を取らせていただいております。今後も状況に応じて可能な限り対応してまいります。

◎今年度も、新型コロナウイルス感染予防のため、ご利用者様、ご家族様には様々なご理解、ご協力をいただき大変ありがとうございました。また、今回のアンケートでは貴重なご意見とともに、多くの励ましや感謝のメッセージをいただきありがとうございました。今後も、ご利用様に安心安全に楽しくお過ごしいただけるよう、施設として取り組んでまいります。今後ともよろしくお願い致します。

各種データ（令和５年度・令和４年度）

- ・延べ利用者数
- ・地区別延べ入所者数
- ・地区別実入所者数
- ・入退所状況一覧（入所前居所・退所後居所）
- ・入所介護サービス費実績一覧
- ・在宅復帰率
- ・入所稼働率
- ・入所者平均要介護度
- ・介護福祉士割合

令和5年度 延べ利用者数

入 所					
	2階	3階	延利用者	1日平均	稼働日
4月	933	958	1,891	63.0	30
5月	930	940	1,870	60.3	31
6月	897	903	1,800	60.0	30
7月	879	983	1,862	60.1	31
8月	979	989	1,968	63.5	31
9月	949	948	1,897	63.2	30
10月	987	973	1,960	63.2	31
11月	937	894	1,831	61.0	30
12月	947	985	1,932	62.3	31
1月	894	981	1,875	60.5	31
2月	808	872	1,680	57.9	29
3月	850	947	1,797	58.0	31
合計	10,990	11,373	22,363	61.1	366

短期・予防短期			
延利用者	1日平均	稼働日	
52	1.7	30	
66	2.1	31	
88	2.9	30	
41	1.3	31	
56	1.8	31	
50	1.7	30	
61	2.0	31	
54	1.8	30	
51	1.6	31	
35	1.1	31	
41	1.4	29	
67	2.2	31	
662	1.8	366	

通リハ・予防通リハ			
延利用者	1日平均	稼働日	
335	16.8	20	
330	16.5	20	
353	16.0	22	
292	14.6	20	
348	15.8	22	
330	16.5	20	
348	16.6	21	
320	16.0	20	
300	15.0	20	
264	13.9	19	
292	15.4	19	
315	15.8	20	
3,827	15.7	243	

令和4年度 延べ利用者数

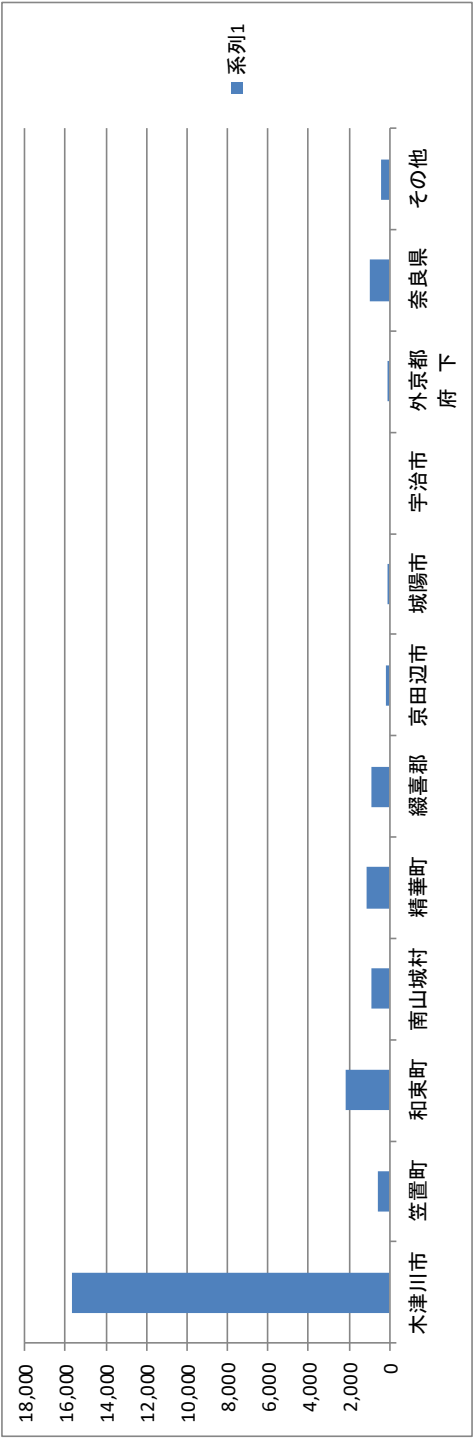
入 所					
	2階	3階	4階	延利用者	1日平均 稼働日
4月	856	871	865	2,592	86.4 30
5月	859	890	770	2,519	81.3 31
6月	758	790	695	2,243	74.8 30
7月	821	849	524	2,194	70.8 31
8月	791	829	361	1,981	63.9 31
9月	849	883	148	1,880	62.7 30
10月	981	899	0	1,880	60.6 31
11月	913	828	0	1,741	58.0 30
12月	912	946	0	1,858	59.9 31
1月	939	970	0	1,909	61.6 31
2月	836	855	0	1,691	60.4 28
3月	964	967	0	1,931	62.3 31
合計	10,479	10,577	3,363	24,419	66.9 365

短期・予防短期		
延利用者	1日平均	稼働日
81	2.7	30
87	2.8	31
81	2.7	30
44	1.4	31
29	0.9	31
42	1.4	30
42	1.4	31
43	1.4	30
34	1.1	31
39	1.3	31
40	1.4	28
38	1.2	31
600	1.6	365

通リハ・予防通リハ		
延利用者	1日平均	稼働日
260	13.0	20
100	5.3	19
248	11.3	22
249	12.5	20
246	11.2	22
292	14.6	20
294	14.7	20
307	15.4	20
301	15.1	20
259	13.6	19
297	15.6	19
341	15.5	22
3,194	13.1	243

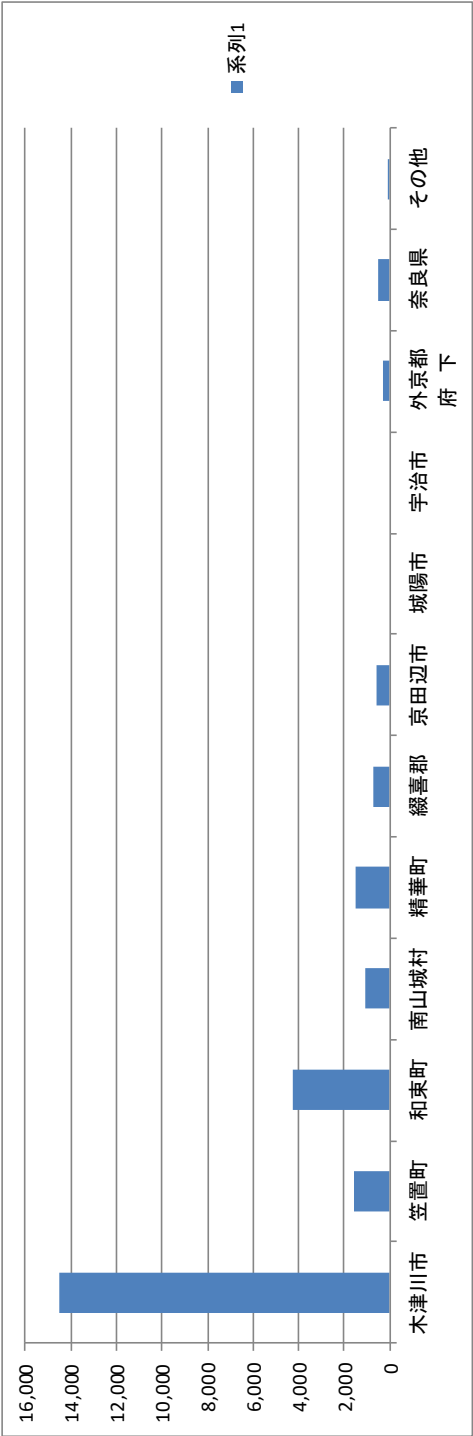
令和5年度 地区別 延べ入所者数（入所および短期入所）

	木津	加茂	山城	木津川市	笠置町	和束町	南山城村	精華町	綴喜郡	京田辺市	城陽市	宇治市	外京都府下	奈良県	その他	合 計	(人)	(%)	(%)	相楽比率
4 月	586	373	314	1,273	89	231	89	81	70	30	0	0	20	30	30	1,943		86.6		90.7
5 月	633	367	350	1,350	40	151	66	112	93	31	0	0	31	31	31	1,936		83.0		88.8
6 月	604	380	386	1,370	38	177	60	87	61	30	0	0	30	30	5	1,888		87.1		91.7
7 月	624	363	372	1,359	31	217	62	61	62	31	0	0	31	31	18	1,903		87.7		90.9
8 月	652	420	393	1,465	31	217	62	84	62	31	0	0	0	41	31	2,024		87.7		91.8
9 月	661	365	330	1,356	40	188	63	125	60	25	0	0	0	60	30	1,947		84.6		91.0
10 月	718	347	327	1,392	62	186	93	117	62	0	0	0	0	78	31	2,021		85.7		91.5
11 月	665	361	283	1,309	60	165	84	92	75	0	0	0	0	70	30	1,885		85.8		90.7
12 月	686	425	245	1,356	33	155	62	85	93	0	0	0	0	137	62	1,983		81.0		85.3
1 月	603	362	246	1,211	31	155	69	83	93	0	27	0	0	179	62	1,910		76.8		81.1
2 月	405	378	259	1,042	46	156	87	100	87	0	0	0	0	145	58	1,721		77.3		83.1
3 月	447	444	275	1,166	62	173	93	100	66	0	0	0	18	124	62	1,864		80.2		85.5
合 計	7,284	4,585	3,780	15,649	563	2,171	890	1,127	884	178	27	0	130	956	450	23,025		83.7		88.6
累計比率%	31.6	19.9	16.4	68.0	2.4	9.4	3.9	4.9	3.8	0.8	0.1	0.0	0.6	4.2	2.0	100.0		83.7		88.6



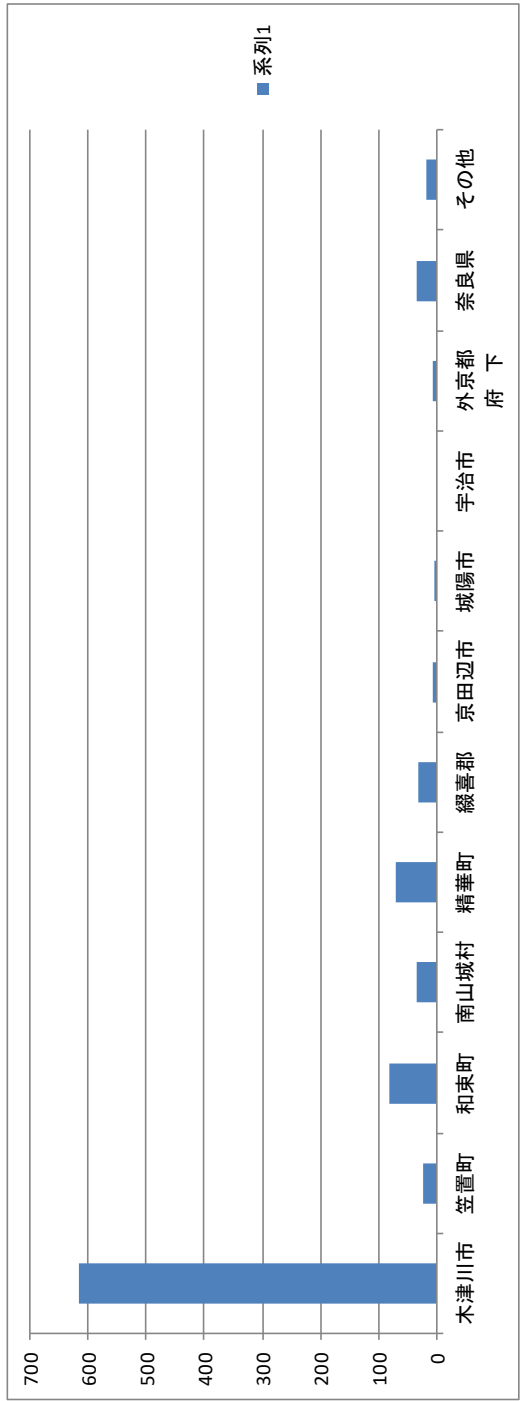
令和4年度 地区別 延べ入所者数（入所および短期入所）

	木津	山城	加茂	木津川市	笠置町	和束町	南山城村	精華町	綴喜郡	京田辺市	城陽市	宇治市	外京都府下	奈良県	その他	合 計	(人)	(%)	構成市町村比率	(%)	相乗比率
4月	708	390	490	1,588	68	405	90	192	120	120	0	0	30	60	0	2,673		80.5		87.7	
5月	714	387	448	1,549	93	421	82	208	109	75	0	0	7	62	0	2,606		82.3		90.3	
6月	612	307	515	1,434	94	354	55	179	68	88	0	0	16	36	0	2,324		83.3		91.0	
7月	561	307	553	1,421	133	328	55	158	38	48	0	0	31	26	0	2,238		86.6		93.6	
8月	355	280	533	1,168	154	343	71	120	31	61	0	0	31	31	0	2,010		86.4		92.3	
9月	317	294	507	1,118	135	365	91	102	25	30	0	0	30	26	0	1,922		88.9		94.2	
10月	355	291	443	1,089	144	398	93	74	31	31	0	0	31	31	0	1,922		89.7		93.5	
11月	417	196	331	944	171	348	90	81	47	30	0	0	30	43	0	1,784		87.1		91.6	
12月	527	194	245	966	170	365	112	93	62	31	0	0	31	62	0	1,892		85.3		90.2	
1月	550	198	255	1,003	163	372	98	126	62	31	0	0	31	62	0	1,948		84.0		90.5	
2月	425	224	323	972	139	289	112	78	56	28	0	0	7	50	0	1,731		87.3		91.9	
3月	556	298	363	1,217	130	289	124	76	62	31	0	0	0	31	9	1,969		89.4		93.2	
合 計	6,097	3,366	5,006	14,469	1,594	4,277	1,073	1,487	711	604	0	0	275	520	9	25,019		85.6		91.5	
累計比率%	24.4	13.5	20.0	57.8	6.4	17.1	4.3	5.9	2.8	2.4	0.0	0.0	1.1	2.1	0.0	100.0		85.6		91.5	



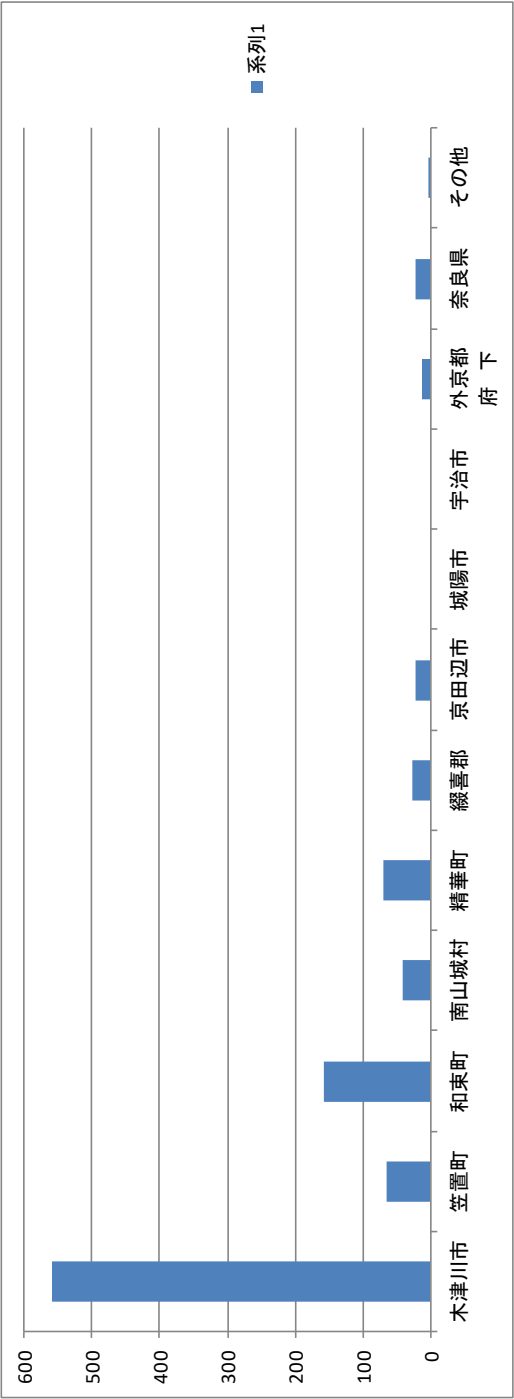
令和5年度 地区別 実入所者数(入所および短期入所)

	木津	加茂	山城	木津川市	笠置町	和束町	南山城村	精華町	綴喜郡	京田辺市	城陽市	宇治市	外京都府下	奈良県	その他	合 計	(人)	(%)	(%)	相乗比率
4月	25	13	13	51	4	8	4	6	3	1	0	0	1	1	1	80	83.8	91.3		
5月	27	14	13	54	2	7	3	7	3	1	0	0	1	1	1	80	82.5	91.3		
6月	29	13	13	55	2	7	2	5	3	1	0	0	1	1	1	78	84.6	91.0		
7月	27	14	14	55	1	7	2	4	2	1	0	0	1	1	1	75	86.7	92.0		
8月	27	5	13	45	1	7	2	5	2	1	0	0	0	2	1	66	83.3	90.9		
9月	30	15	11	56	2	10	3	6	2	1	0	0	0	2	1	83	85.5	92.8		
10月	29	14	11	54	2	6	3	6	2	0	0	0	0	3	1	77	84.4	92.2		
11月	29	17	10	56	2	6	3	6	3	0	0	0	0	3	1	80	83.8	91.3		
12月	26	17	9	52	3	5	2	4	3	0	0	0	0	6	2	77	80.5	85.7		
1月	25	14	9	48	1	6	3	7	3	0	1	0	0	6	2	77	75.3	84.4		
2月	18	15	10	43	2	6	3	6	3	0	0	0	0	5	2	70	77.1	85.7		
3月	21	16	9	46	2	6	3	7	3	0	0	0	1	4	2	74	77.0	86.5		
合 計	313	167	135	615	24	81	33	69	32	6	1	0	5	35	16	917	82.1	89.6		
累計比率%	34.1	18.2	14.7	67.1	2.6	8.8	3.6	7.5	3.5	0.7	0.1	0.0	0.5	3.8	1.7	100.0	82.1	89.6		



令和4年度 地区別 実入所者数(入所および短期入所)

	木津	山城	加茂	木津川市	笠置町	和東町	南山城村	精華町	綴喜郡	京田辺市	城陽市	宇治市	外京都府下	奈良県	その他	合 計	(人)	(%)	相乗比率
4月	26	13	18	57	4	15	3	7	4	4	0	0	1	2	0	97		81.4	88.7
5月	25	14	18	57	3	15	3	7	4	4	0	0	1	2	0	96		81.3	88.5
6月	23	11	18	52	4	12	4	7	3	3	0	0	1	2	0	88		81.8	89.8
7月	21	13	19	53	6	14	2	6	2	3	0	0	1	1	0	88		85.2	92.0
8月	15	11	21	47	5	14	3	4	1	2	0	0	1	1	0	78		88.5	93.6
9月	13	12	18	43	5	14	4	6	2	1	0	0	1	2	0	78		84.6	92.3
10月	15	12	16	43	7	15	3	4	1	1	0	0	1	2	0	77		88.3	93.5
11月	18	7	13	38	7	14	3	4	2	1	0	0	1	2	0	72		86.1	91.7
12月	20	7	11	38	7	12	4	6	2	1	0	0	1	2	0	73		83.6	91.8
1月	21	8	9	38	6	12	4	7	2	1	0	0	1	2	0	73		82.2	91.8
2月	22	8	14	44	6	11	4	6	2	1	0	0	1	2	0	77		84.4	92.2
3月	26	12	12	50	5	10	4	5	2	1	0	0	1	1	1	80		86.3	92.5
合 計	245	128	187	560	65	158	41	69	27	23	0	0	12	21	1	977		84.3	91.4
累計比率%	25.1	13.1	19.1	57.3	6.7	16.2	4.2	7.1	2.8	2.4	0.0	0.0	1.2	2.1	0.1	100.0		84.3	91.4



令和5年度 入退所状況一覧

	入所	(入所前の居所)				退所	(退所後の居所)					月末時点 (23:59) での入所 者数	1日平均入 所者数(短 期含む)	稼働率 (短期含む)
		(山城病院)	(家庭)	(老健)	(その他 医療機関)		(山城病院 へ入院)	(家庭)	(老健)	(特養)	(その他 医療機関)	(その他)		
4月	9	5	2	0	2	0	1	3	1	0	0	1	64.8	98.2
5月	8	3	2	1	2	0	3	2	2	3	0	0	62.4	94.5
6月	9	2	5	0	1	1	6	0	1	2	2	2	62.9	95.3
7月	12	9	3	0	0	0	4	2	0	2	0	0	61.4	93.0
8月	7	4	2	0	0	1	0	3	0	2	0	0	65.3	98.9
9月	10	5	2	1	2	0	1	3	1	4	0	1	64.9	98.3
10月	5	3	0	1	1	0	0	3	0	1	0	2	65.2	98.8
11月	13	6	6	0	1	0	2	2	1	4	0	4	62.8	95.2
12月	11	2	3	0	6	0	1	1	5	1	0	2	64.0	97.0
1月	10	6	3	0	1	0	6	5	0	2	0	2	61.6	93.3
2月	6	2	2	1	1	0	2	1	1	3	0	2	59.3	89.8
3月	14	10	4	0	0	0	2	2	1	3	0	2	60.2	91.2
合計	114	57	34	4	17	2	28	27	13	27	2	18	62.9	95.3
(率)		50%	30%	4%	15%	2%	24%	23%	11%	23%	2%	16%		

令和4年度 入退所状況一覧

	入所	(入所前の居所)				退所	(退所後の居所)					月末時点 (23:59) での入所 者数	1日平均入 所者数(短 期含む)	稼働率 (短期含む)
		(山城病院)	(家庭)	(老健)	(その他 医療機関)		(山城病院 へ入院)	(家庭)	(老健)	(特養)	(その他 医療機関)	(その他)		
4月	8	6	0	0	2	0	7	3	1	0	0	0	89.1	89.1
5月	6	6	0	0	0	0	17	9	3	2	0	0	84.0	84.0
6月	7	5	2	0	0	0	15	8	1	5	1	0	77.5	77.5
7月	17	10	5	1	1	0	17	5	2	5	4	0	72.2	72.2
8月	9	4	1	2	2	0	13	2	2	5	3	0	64.8	64.8
9月	11	3	1	4	3	0	12	2	5	0	2	1	64.1	64.1
10月	10	4	4	1	1	0	12	3	2	1	5	0	93.9	93.9
11月	11	9	1	1	0	0	15	8	3	1	2	0	90.2	90.2
12月	12	7	3	1	1	0	7	3	1	1	1	0	92.4	92.4
1月	5	1	2	1	1	0	7	1	4	1	1	0	95.2	95.2
2月	10	7	0	1	2	0	10	2	1	1	5	0	93.6	93.6
3月	11	6	2	0	3	0	11	2	5	1	2	0	96.2	96.2
合計	117	68	21	12	16	0	143	48	32	25	28	2	68.5	84.4
(率)		58%	18%	10%	14%	0%		34%	22%	17%	20%	1%		

令和5年度入所介護サービス費実績一覧

サービス内容	R5/4 算定回数	R5/5 算定回数	R5/6 算定回数	R5/7 算定回数	R5/8 算定回数	R5/9 算定回数	R5/10 算定回数	R5/11 算定回数	R5/12 算定回数	R6/1 算定回数	R6/2 算定回数	R6/3 算定回数	算定回数 合計
保Ⅰⅱ1	30	0	0	13	31	30	34	30	17	31	29	31	276
保Ⅰⅱ2	30	31	32	62	41	60	62	44	62	62	76	90	652
保Ⅰⅱ3	158	142	92	114	92	68	112	150	152	146	159	199	1584
保Ⅰⅱ4	213	249	233	229	266	240	217	195	183	154	116	64	2359
保Ⅰⅱ5	30	61	66	31	48	42	44	30	68	115	87	93	715
保Ⅰⅳ1	60	45	65	93	103	109	93	118	169	181	94	133	1263
保Ⅰⅳ2	309	321	369	382	341	305	248	219	204	231	174	178	3281
保Ⅰⅳ3	536	518	449	460	496	583	614	571	631	492	440	404	6194
保Ⅰⅳ4	399	410	386	386	452	361	440	406	328	353	385	413	4719
保Ⅰⅳ5	120	87	100	79	93	93	93	60	115	98	116	180	1234
サ提供加算Ⅱ	1885	1864	1792	1849	1963	1891	1957	1823	1929	1863	1676	1785	22277
在宅復療援加算Ⅱ	0	0	0	0	0	0	1957	1823	1929	1863	1676	1785	11033
ターミナル加算ⅠⅠ	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	15
夜勤職員配置加算	1885	1864	1792	1849	1963	1891	1957	1823	1929	1863	1676	1785	22277
地連携計画加算Ⅰ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
短期集中リハ加算	421	455	460	332	398	377	347	367	471	501	466	369	4964
認短期集中リハ加算	57	56	67	60	61	78	84	77	71	56	54	34	755
安全対策体制加算	9	8	9	11	6	11	5	12	11	10	6	14	112
療養食加算	1524	1584	1544	1900	2111	2134	2129	1947	1738	1860	1718	1922	22111
経口維持加算Ⅰ	11	11	10	11	13	17	16	21	17	15	16	14	172
経口維持加算Ⅱ	11	11	10	11	13	17	16	21	17	15	16	14	172
栄養強化加算	1885	1864	1792	1849	1963	1891	1957	1823	1929	1863	1676	1785	22277
排せつ支援加算Ⅰ	44	47	50	44	48	56	52	60	60	57	50	57	625
排せつ支援加算Ⅱ	22	19	17	18	16	14	13	11	10	11	10	7	168
排せつ支援加算Ⅲ	3	3	3	5	3	3	3	3	3	3	3	3	38
褥瘡加算Ⅰ	14	14	14	15	13	18	13	17	15	16	9	19	177

褥瘡マシ加算Ⅱ	55	55	56	52	54	55	55	57	58	55	54	48	654
科学介護加算Ⅱ	69	69	70	67	67	73	68	74	73	71	63	67	831
リハマシ計画書加算	69	69	70	67	67	73	68	74	73	71	63	67	831
初期加算	284	216	197	194	145	230	247	194	372	246	178	206	2709
入前後指加算Ⅰ1	1	0	0	0	0	3	0	1	3	2	0	2	12
入前後指加算Ⅱ1	1	3	4	3	2	3	2	3	1	2	1	4	29
入退所前連加算Ⅰ	17	2	0	2	1	2	1	1	0	3	1	2	32
退時情報提供加算	4	2	2	2	3	4	4	4	2	7	3	3	40
入退所前連加算Ⅱ	15	0	0	0	2	1	2	1	0	3	0	0	24
タ-ミルルマシ加算21	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	27
タ-ミルルマシ加算31	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
タ-ミルルマシ加算41	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
所定疾患療養費Ⅰ	7	14	13	20	14	23	12	0	7	21	0	8	139

令和4年度入所介護サービス費実績一覧

サービス内容	R4/4 算定回数	R4/5 算定回数	R4/6 算定回数	R4/7 算定回数	R4/8 算定回数	R4/9 算定回数	R4/10 算定回数	R4/11 算定回数	R4/12 算定回数	R5/1 算定回数	R5/2 算定回数	R5/3 算定回数	算定回数 合計
保Ⅰⅰ1	90	93	79	62	26	0	0						350
保Ⅰⅰ2	90	74	58	55	62	1	4						344
保Ⅰⅰ3	204	224	224	193	178	159	143						1,325
保Ⅰⅰ4	171	155	159	193	153	157	188						1,176
保Ⅰⅰ5	135	109	113	84	62	98	97						698
保Ⅰⅱ1	120	124	68	31	14	33	88						478
保Ⅰⅱ2	330	322	240	210	198	205	218						1,723
保Ⅰⅱ3	647	596	475	561	610	624	555						4,068
保Ⅰⅱ4	691	670	662	611	555	499	483						4,171
保Ⅰⅱ5	105	137	152	179	117	99	97						886
保Ⅰⅲ1								10	13	31	28	31	113
保Ⅰⅲ2								54	74	72	47	55	302
保Ⅰⅲ3								118	124	125	69	101	537
保Ⅰⅲ4								158	121	183	190	245	897
保Ⅰⅲ5								60	62	62	48	48	280
保Ⅰⅳ1								69	69	69	84	86	377
保Ⅰⅳ2								207	248	269	232	310	1,266
保Ⅰⅳ3								498	505	455	509	525	2,492
保Ⅰⅳ4								430	490	516	390	439	2,265
保Ⅰⅳ5								120	119	125	85	83	532
所定疾患療養費Ⅱ							14	9					37
サ提供加算Ⅱ	2,583	2,504	2,230	2,179	1,975	1,875	1,873	1,724	1,825	1,907	1,682	1,923	24,280
在宅復療援加算Ⅰ	2,583	2,504	2,230	2,179	1,975	1,875	1,873						15,219
夜勤職員配置加算	2,583	2,504	2,230	2,179	1,975	1,875	1,873	1,724	1,825	1,907	1,682	1,923	24,280
地連携計画加算						1		1	1	1	2	1	7
短期集中リハ加算	319	148	167	178	261	270	256	316	333	363	281	384	3,276

認短期集中リ加算	41	20	35	34	75	74	76	94	67	93	70	80	759
安全対策体制加算	9	6	7	17	9	9	8	12	8	5	9	12	111
療養食加算	2,103	1,911	2,111	1,907	1,460	1,286	1,371	1,348	1,416	1,473	1,457	1,624	19,467
経口維持加算Ⅰ	14	15	15	16	15	17	16	16	16	15	16	14	185
経口維持加算Ⅱ	14	15	15	16	15	17	16	16	16	15	16	14	185
栄養強化加算	2,583	2,504	2,230	2,179	1,975	1,875	1,873	1,724	1,825	1,907	1,682	1,923	24,280
排せつ支援加算Ⅰ	83	80	76	72	67	68	60	61	62	49	51	49	778
排せつ支援加算Ⅱ	10	10	7	11	9	6	10	6	4	16	16	18	123
排せつ支援加算Ⅲ										2	2	4	8
褥瘡マシ加算Ⅰ	11	9	10	22	17	14	10	15	14	10	15	16	163
褥瘡マシ加算Ⅱ	82	81	73	61	59	60	60	52	52	57	54	55	746
科学介護加算Ⅱ	93	93	83	85	77	74	70	70	66	67	69	71	918
リハマシ計画書加算	93	93	83	85	77	74	70	70	66	67	69	71	918
初期加算	127	45	120	145	173	233	195	265	131	164	215	268	2,081
入前後指加算Ⅱ	1	1	3	3	4	4	4	4	4	3	3	6	40
入退所前連加算Ⅰ	1	2	1		1		1	1					43
退時情報提供加算	3	3	1	3	3	5	3	3	2	4	1	5	36
入退所前連加算Ⅱ	2	1		2	1	3	1	2	1	3	4	26	46
所定疾患療養費Ⅰ	38	8	17	12	12	20							107
タミナリマシ加算11											15		15
タミナリマシ加算21											27	11	38
タミナリマシ加算31											2	2	4
タミナリマシ加算41											1	1	2

在宅復帰率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	総退所人数	6	9	13	8	5	10	5	11	10	15	9	9	9.2
	うち在宅復帰人数	4	2	2	2	3	4	4	4	3	7	3	3	3.4
	在宅復帰率(%) 単月	66.7	22.2	15.4	25.0	60.0	40.0	80.0	36.4	30.0	46.7	33.3	33.3	40.8
	在宅復帰率(%) 6カ月平均	28.8	33.3	35.4	33.3	29.1	35.3	33.3	34.0	36.5	40.8	44.6	41.7	35.5
	総退所人数	7	16	15	16	12	12	11	15	7	7	9	10	11.4
令和4年度	うち在宅復帰人数	3	3	1	3	3	3	3	3	1	4	1	5	2.8
	在宅復帰率(%) 単月	42.9	18.8	6.7	18.8	25.0	25.0	27.3	20.0	14.3	57.1	11.1	50.0	26.4
	在宅復帰率(%) 6カ月平均	23.7	21.8	20.7	19.0	18.9	18.5	20.5	19.5	19.8	21.9	26.6	24.6	21.3

入所稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度(%)	98	95	95	93	99	98	99	95	97	93	90	91	95
令和4年度(%)	89	84	76	72	65	64	94	90	92	95	94	96	84

※ ショートステイ含む

入所者平均要介護度

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	男	3.5	3.6	3.4	3.5	3.6	3.6	3.5	3.2	3.3	3.2	2.9	3.0	3.4
	女	3.1	3.1	3.2	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2	3.3	3.1
	平均	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2
令和4年度	男	3.7	3.6	3.6	3.7	3.6	3.4	3.2	2.8	3.1	3.2	3.3	3.3	3.4
	女	3.1	3.1	3.2	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3
	平均	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	3.3

介護福祉士割合

年度	介護職員数(平均)	うち、介護福祉士数(平均)	介護福祉士割合
令和5年度	26.6人	23.6人	88.7%
令和4年度	31.6人	23.6人	73.5%

令和5年度決算状況

令和5年度国民健康保険山城病院組合介護老人保健施設事業会計決算資料

1. 利用者数等の状況

	令和5年度	令和4年度	増 減 (A－B)	増減率 (C／B)
	A	B	C	D
年 延 入 所 者 数	22,363	24,419	△ 2,056	△ 8.4
1 日 平 均 入 所 者 数	61.1	66.9	△ 5.8	△ 8.7
施 設 療 養 収 益 (円)	323,599,743	333,319,405	△ 9,719,662	△ 2.9
利 用 者 1 人 1 日 当 り 平 均 (円)	14,470	13,650	820	6.0
年 延 短 期 入 所 者 数	662	600	62	10.3
1 日 平 均 短 期 入 所 者 数	1.8	1.6	0.2	12.5
短 期 入 所 療 養 収 益 (円)	10,224,639	8,861,484	1,363,155	15.4
利 用 者 1 人 1 日 当 り 平 均 (円)	15,445	14,769	676	4.6
年 延 通 所 リ ハ ビ リ 者 数	3,827	3,194	633	19.8
1 日 平 均 通 所 リ ハ ビ リ 者 数	15.7	13.1	2.6	19.8
通 所 リ ハ ビ リ 療 養 収 益 (円)	42,421,400	34,693,649	7,727,751	22.3
利 用 者 1 人 1 日 当 り 平 均 (円)	11,085	10,862	223	2.1

2. 収益的収支の状況（税抜き）

年 度		令和5年度(A)		令和4年度(B)		比 較	
科 目		金 額	総 支 出 比	金 額	総 支 出 比	増減(A)－(B)	(A)－(B) (B)
収 入	療 養 収 益	392,749,952	87.2	392,414,884	77.3	335,068	0.1
	施 設 療 養 収 益	323,599,743	71.8	333,319,405	65.6	△ 9,719,662	△ 2.9
	短 期 入 所 療 養 収 益	10,224,639	2.3	8,861,484	1.7	1,363,155	15.4
	通 所 リ ハ ビ リ 療 養 収 益	42,421,400	9.4	34,693,649	6.8	7,727,751	22.3
	そ の 他 療 養 収 益	16,504,170	3.7	15,540,346	3.1	963,824	6.2
入	療 養 外 収 益	56,312,069	12.5	76,908,147	15.1	△ 20,596,078	△ 26.8
	他 会 計 繰 入 金	18,239,000	4.0	19,216,000	3.8	△ 977,000	△ 5.1
	長 期 前 受 戻 入	26,096,961	5.8	25,677,122	5.1	419,839	1.6
	そ の 他 療 養 外 収 益	11,976,108	2.7	32,015,025	6.3	△ 20,038,917	△ 62.6
	特 別 利 益	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	449,062,021	99.7	469,323,031	92.4	△ 20,261,010	△ 4.3
支 出	療 養 費 用	422,263,944	93.7	467,608,024	92.1	△ 45,344,080	△ 9.7
	給 与 費	282,858,440	62.8	311,177,521	61.3	△ 28,319,081	△ 9.1
	材 料 費	30,111,878	6.7	28,597,249	5.6	1,514,629	5.3
	経 費	82,025,183	18.2	96,148,065	18.9	△ 14,122,882	△ 14.7
	減 価 償 却 費	26,724,101	5.9	31,543,461	6.2	△ 4,819,360	△ 15.3
	資 産 減 耗 費	440,814	0.1	4,793	0.0	436,021	9,097.0
	研 究 研 修 費	103,528	0.0	136,935	0.0	△ 33,407	△ 24.4
	療 養 外 費 用	28,353,215	6.3	40,303,419	7.9	△ 11,950,204	△ 29.7
	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	14,846,649	3.3	15,923,197	3.1	△ 1,076,548	△ 6.8
	長 期 前 払 消 費 税 勘 定 償 却	2,545,221	0.6	3,046,531	0.6	△ 501,310	△ 16.5
出	そ の 他 療 養 外 費 用	10,961,345	2.4	21,333,691	4.2	△ 10,372,346	△ 48.6
	特 別 損 失	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	450,617,159	100.0	507,911,443	100.0	△ 57,294,284	△ 11.3
純 損 益		△ 1,555,138		△ 38,588,412		37,033,274	
前 年 度 繰 越 欠 損 金		△ 457,029,308		△ 418,440,896		△ 38,588,412	
利 益 剰 余 金		△ 458,584,446		△ 457,029,308		△ 1,555,138	

【主なポイント】 (小数点以下四捨五入の関係で、内訳と計が合致しない場合がある。)

- ・入所施設の運営に当たっては、入所者確保と在宅復帰率やベッド回転率の向上等に努めた結果、10月に介護報酬制度に基づく施設分類の最高ランクにあたる「超強化型」にランクアップさせ、利用単価増につながった。また、在宅復帰支援として、短期入所・通所リハの利用促進に努め、利用者増につながった。
- ・療養費用では、体制・業務の縮小と病院との負担見直しによる給与費の減や委託費等の経費の削減に努め、施設事業全体として経営改善につなげることができたが、なお約1,555千円の純損失を計上することとなった。

歴代施設長

年代	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
初代	岩城 雅美	平成 1 9 年 3 月	平成 2 4 年 1 2 月	
2	赤坂 裕三	平成 2 5 年 1 月	平成 3 0 年 7 月	
3	岩本 一秀	平成 3 0 年 8 月	令和 3 年 3 月	
4	中井 一郎	令和 3 年 4 月	令和 4 年 3 月	
5	原田 政吉	令和 4 年 4 月	令和 4 年 9 月	
6	大島 洋一	令和 4 年 1 0 月	令和 6 年 3 月	

歴代副施設長

年代	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
初代	大溝 明実	平成 2 8 年 4 月	令和 6 年 3 月	兼事務長 (令和元年度～ 令和 5 年 3 月) 兼看護・介護部長 (令和 5 年 4 月～ 令和 6 年 3 月)
〃	中西 康夫	平成 2 8 年 4 月	平成 3 0 年 5 月	兼事務長
2	道家 俊之	平成 3 0 年 6 月	平成 3 1 年 3 月	兼事務長

歴代事務長

年代	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
初代	竹本 正雄	平成 1 9 年 3 月	平成 2 0 年 3 月	
2	塚本 昌弘	平成 2 0 年 4 月	平成 2 1 年 3 月	

3	竹本 正雄	平成 2 1 年 4 月	平成 2 2 年 3 月	
4	小西 豊三	平成 2 2 年 4 月	平成 2 3 年 3 月	
5	馬 喜美子	平成 2 3 年 4 月	平成 2 8 年 3 月	
6	中西 康夫	平成 2 8 年 4 月	平成 3 0 年 5 月	兼副施設長
7	道家 俊之	平成 3 0 年 6 月	平成 3 1 年 3 月	兼副施設長
8	大溝 明実	平成 3 1 年 4 月	令和 5 年 3 月	兼副施設長
9	木下 直己	令和 5 年 4 月	令和 6 年 3 月	

歴代看護・介護部長

年代	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
初代	岡本 環	平成 1 9 年 3 月	平成 1 9 年 6 月	
2	坂本 朱美	平成 1 9 年 7 月	平成 2 2 年 2 月	
3	小林 藤子	平成 2 2 年 3 月	平成 2 7 年 3 月	
4	坂本 朱美	平成 2 7 年 4 月	令和 3 年 3 月	
5	岩崎 朱美	令和 3 年 4 月	令和 5 年 3 月	
6	大溝 明実	令和 5 年 4 月	令和 6 年 3 月	兼副施設長

(令和 6 年 3 月 3 1 日現在)

